

設置の趣旨等を記載した書類

資 料 目 次

資料 1-1	カリキュラムチェックリスト（児童学科）	2
資料 1-2	カリキュラムチェックリスト（初等教育学科）	8
資料 2-1	カリキュラムツリー（児童学科）	10
資料 2-2	カリキュラムツリー（初等教育学科）	11
資料 3-1	履修モデル（児童学科）	12
資料 3-2	履修モデル（初等教育学科）	16
資料 4-1	既修得科目認定申請書（児童学科）	18
資料 4-2	既修得科目認定申請書（初等教育学科）	30
資料 5-1	3年次編入履修モデル（児童学科）	35
資料 5-2	3年次編入履修モデル（初等教育学科）	37
資料 6-1	実習施設一覧（幼稚園教育実習）	38
資料 6-2	実習施設一覧（小学校教育実習・介護等体験）	41
資料 6-3	実習施設一覧（保育実習） ①保育所	43
	実習施設一覧（保育実習） ②-1 施設	45
	実習施設一覧（保育実習） ②-2 施設（保育実習Ⅲ）	47
資料 7	インターンシップ参加先一覧	48
資料 8	令和4年度東京家政大学留学プログラム	49
資料 9	児童学科専攻別教員一覧	51
資料 10	学校法人渡辺学園教職員定年規程	52
資料 11	特任教員に関する規程	53
資料 12	学術雑誌明細	56
資料 13	教授会規程	60
資料 14	全学運営会議規程	64
資料 15	協議会規程	66
資料 16	科長会規程	68
資料 17	科内会議規程	70
資料 18	東京家政大学・東京家政短期大学部自己評価委員会規程	71
資料 19	キャリア形成支援講座ガイドブック	79

【資料1-1】

児童学科 児童学専攻(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

		カリキュラム						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9			
区分	授業科目	単位数	必修	開設年次				免許・資格 必修	他学科	備考	【知識・技能】			【思考力・判断力・表現力】			【主体性・多様性・協同性】		
				1	2	3	4				児童学が、保育・心理・文化・福祉・保健の5分野から成ることを理解し、説明することができる。	児童学の諸分野の学修を通して、子どもの特性を理解し、具体的に説明することができる。	子どもの健やかな育ちを保障し、促すための技法や技術のいくつかを發揮することができる。	子どもにとっての幸福についての多様な考えをもつことができる。	子どもの生活や遊びの充実に向けた保育を構想することができる。	子ども一人ひとりの特徴や必要性に応じて、保育環境を工夫することができる。	子どもの姿や振る舞いに喜びを感じ、子どもとかわるがわる関わることができる。	自らの考えを、多様な考え方を、受け入れることができる。	児童学の学びをもとに、社会に貢献するために他者と協同して考えることができる。
学科・専攻基礎科目	児童学総論	2	必	○							◎	○				○			
	児童学研究法	[1]	必		○					隔週	○		◎						
	児童文化	2	必			○					○	○	○	◎	○				
	保育原理	2	必	○									◎	○	○				
	子ども理解研究	2	必			○						○	◎						
	保育心理学	2	必		○								◎	○	○		○		
	子どもの保健	2	必	○								○	○	◎		○			
子ども家庭福祉	2	必	○									○	○		◎	○			
基礎科目	保育者論	2	必	○									○	○	○	◎			
	教育・保育制度論	1	必				○						◎				○		
専門教育科目	子どもの健康と安全	[1]	選		●								○			◎			
	子どもの栄養	[2]	選			○							○	○		◎			
	子どもの歌と伴奏	(2)	必	◎										○					
	保育内容の理解と方法A(体育)	[1]	必	●										○			○		
	保育内容の理解と方法B(音楽)	[1]	選			○					隔週			◎	○	○			
	保育内容の理解と方法C(造形)	[1]	必	●										◎			○		
	保育内容の理解と方法D(言葉)	[1]	選		●									◎	○		○		
	保育の楽器実技A	(1)	選				○							◎		○	○		
	保育の楽器実技B	(1)	選				○							◎		○	○		
	保育の楽器実技C	(1)	選				○							◎		○	○		
	保育の造形実技A	[1]	選			○					隔週			◎			○		
	保育の造形実技B	[1]	選			○					隔週			◎			○		
	保育の運動実技A	[1]	選			○					隔週			◎			○		
	保育の運動実技B	[1]	選			○					隔週			◎			○		
保育理論科目	保育の計画と評価	2	選	○									○		◎	○	○		
	カリキュラム論	2	選				○							◎			○		
	保育内容総論	[1]	必	●										◎	○	○			
	保育方法論(情報機器の操作を含む)	2	選				○							◎			○		
	子ども家庭支援の心理学	2	選			○							◎				○		
	保育(遊び)指導論	[1]	必		○						隔週			◎			○		
	子ども理解と援助	[1]	必		●									◎			○		
	教育相談	1	必			●								◎			○		
	子ども家庭支援論	2	必			○								◎			○		
	社会的養護Ⅰ	2	選	○										◎			○		
	社会的養護Ⅱ	[1]	選	●										◎			○		
	社会福祉概論	2	選	○										◎			○		
	乳児保育Ⅰ	2	選			○								◎		○			
	子育て支援	[1]	選			●								◎					
特別支援教育概論	1	必			●								◎						

児童学科 児童学専攻(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

カリキュラム										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9		
区分	授業科目	単位数	必修	標準開設年次				免許・資格 必修	他学科	備考	【知識・技能】			【思考力・判断力・表現力】			【主体性・多様性・協同性】			
				1 前期	2 前期	3 後期	4 後期				児童学が、保 育・心理・文化・ 福祉・保健の5 分野から成るこ とを理解し、説 明することができる。	児童学の諸分 野の学修を通 して、子どもの 特性を理解し、 具体的に説明 することができる。	子どもの健や かな育ちを保 障し、促すた めの技法や技 術のいくつかを 発揮することが できる。	子どもにとつ ての幸福につ いて多様な考 えをもつこと ができる。	子どもの生活 や遊びの充 実に必要な 保育環境を工 夫することができる。	子ども一人 ひとりの特 徴や必要に 応じて、保 育環境を工夫 することができる。	子どもの姿や 振る舞いに 喜びを感じ、 子どもとかわ らぬ関わりを もつこと ができる。	自らの考えを 持ちながら、 多様な考え 方を認め、協 同して考える ことができる。	児童学の学 びをもとに、 社会に貢献 するために 他者と協 同して考える ことができる。	
専 門 教 育 科 目	障がい児 保育演習	[2]	必		○			保育 士必			○		◎	○	○					
	乳児保育Ⅱ	[1]	選			●		保育 士必				◎		○		○	○			
	保育内容 演習(健康)	[1]	必	●				幼 教必 保 育士必			○			◎		○				
	保育内容 演習(人間関 係)	[1]	必	●				幼 教必 保 育士必		○	◎			○				○	○	
	保育内容 演習(環境)	[1]	必	○				幼 教必 保 育士必	隔週		◎		○							
	保育内容 演習(言葉)	[1]	必		●			幼 教必 保 育士必						◎	○		○	○		
	保育内容 演習(表現)	[1]	必	○				幼 教必 保 育士必	隔週			○		◎	○		○	○		
	幼児と健康	[1]	選 必				●		幼 教必		○	◎	○		○					
	幼児と人間関係	[1]	選 必				●		幼 教必			○	○			○			◎	
	幼児と環境	[1]	選 必				●		幼 教必	2単位以上 選択必修		○				◎				
	幼児と言葉	[1]	選 必				●		幼 教必			○			◎			○		
	幼児と表現	[1]	選 必				●		幼 教必			○			○		◎			
	保育内容 「健康」の 指導法	[1]	選				●		幼 教必			◎		○			○			
	保育内容 「人間関係」の 指導法	[1]	選				●		幼 教必		○	○	○	◎	○		○			
	保育内容 「環境」の 指導法	[1]	選				●		幼 教必		◎		○		○		○			
	保育内容 「言葉」の 指導法	[1]	選				●		幼 教必					○	◎	○	○			
	保育内容 「表現」の 指導法	[1]	選				●		幼 教必			○		◎		○		○		
	音楽表現	[1]	選				○		幼 教必 保 育士選	隔週		○		○	○		◎			
	造形表現	[1]	選				○		幼 教必 保 育士選	隔週		◎		○				○		
	演劇表現	[1]	選				○		幼 教必 保 育士選	隔週		◎		○			○			
保育キャリア 支援演習	[1]	選				○			隔週									◎		
保育のパソコン	[2]	選				○					○	◎		○	○					
児 童 学 研 究 科 目 (児 童 学 専 攻)	児童学 特別講義A	2	選				○								◎	○	○	○		
	児童学 特別講義B	2	選				○			○			○				◎	○		
	児童学 特別講義C	2	選				○				○	○	◎				○	○		
	児童学 特別講義D	2	選				○				○	◎	○					○		
	児童学 特別演習A	[2]	選				○				○					◎		○		
	児童学 特別演習B	[2]	選				○				○					◎		○		
	児童学 特別演習C	[2]	選				○					○		◎	○	○				
児童学 特別演習D	[2]	選				○				○	○					◎				
総 合 研 究 科 目	ゼミナールⅠ	[2]	必				◎		隔週	○			○					◎		
	ゼミナールⅡ	[2]	必				◎		隔週	○	○							◎		
	卒業研究	[4]	必				◎			○	○		○					◎		

児童学科 児童学専攻(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

カリキュラム										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9		
区分	授業科目	単位数	必修	標準開設年次				免許・資格 必修	他学科	備考	【知識・技能】			【思考力・判断力・表現力】			【主体性・多様性・協同性】			
				1 前期	2 前期	3 後期	4 後期				児童学が、保 育・心理・文化・ 福祉・保健の5 分野から成ること を理解し、説明 することができる。	児童学の諸分 野の学修を通 して、子どもの 特性を理解し、 具体的に説明 することができる。	子どもの健や かな育ちを保 障し、促すため の技法や技術 のいくつかを発 揮することができる。	子どもにとつ ての幸福につい て、多様な考え をもつことができ る。	子どもの生活 や遊びの充実 に向けた保育 を構想すること ができる。	子ども一人ひと りの特徴や必 要性に応じて、 保育環境を工夫 することができる。	子どもの姿や 振る舞いに喜 びを感じ、子ど もとかわるこ とができる。	自らの考えを 持ちながら、多 様な考え方を 受け入れるこ とができる。	児童学の学び をもとに、社会 に貢献するた めに他者と協 同して考えるこ とができる。	
専門 教育 科目	自校附属園実習	(1)	必	◎								○	◎		○	○	○			
	教育実習(幼)	(4)	選			◎	○	幼教 必						○	○	◎	○	○		
	教育実習事前 事後指導(幼)	(1)	選				○	○	幼教 必					◎	○	○	○	○		
	教職・保育 実践演習	[2]	選					○	幼教 必 保 育士必					○	○			○	◎	
	保育実習指導 I(保育所)	[1]	選		○	○			保 育士必				◎	○	○					
	保育実習指導 I(施設)	[1]	選			○			保 育士必				◎	○	○					
	保育実習 I	(4)	選		○	○			保 育士必			○	◎	○	◎	○	○			
	保育実習指導 II	[1]	選			○			保 育士選	①		◎	○							
	保育実習 II	(2)	選			○			保 育士選			○	◎	◎	○	○	○			○
	保育実習指導 III	[1]	選			○			保 育士選	②	◎		○						○	
保育実習 III	(2)	選			○			保 育士選		○		◎						○		
科 理 教 育 目 標 に 関 連 す る 的	教育原論	2	選		○				幼 教 必 保 育士必		○		◎					○		
	教育心理学	2	選	○					幼 教 必 保 育士選	○	○	○		◎	○					

児童学科 育児支援専攻(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

区分	授業科目	単位数	必修	標準開設年次				免許・資格必選別	他学科	備考	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9						
				1	2	3	4				【知識・技能】									【思考力・判断力・表現力】			【主体性・多様性・協同性】		
				前期	後期	前期	後期				児童学が、保育・心理・文化・福祉・保健の5分野から成ることを理解し、説明することができる。	児童学の諸分野の学修を通して、子どもの特性を理解し、具体的に説明することができる。	子どもの健やかな育ちを保障し、促すための技法や技術のいくつかを発揮することができる。	子どもにとっての幸福について、多様な考えをもつことができる。	子どもの生活や遊びの充実に向けた保育を構想することができる。	子ども一人ひとりの特徴や必要性に応じて、保育環境を工夫することができる。	子どもの姿や振る舞いに喜びを感じ、子どもとかわることができる。	自らの考えを持ちながら、多様な考え方を受け入れることができる。	児童学の学びをもとに、社会に貢献するために他者と協同して考えることができる。						
学科・専攻基礎科目	児童学総論	2	必	○				幼教必				◎	○		○										
	児童学研究法	[1]	必		○			幼教必		隔週			◎												
	児童文化	2	必			○		幼教必 保育士選				○	○	◎	○										
	保育原理	2	必	○				保育士必 社福主必						◎	○	○									
	育児支援研究	2	必			○		保育士選						◎			○	○							
	保育心理学	2	必		○			幼教必 保育士必				◎	○	○	○										
	子どもの保健	2	必	○				保育士必				○	○	◎		○									
	子ども家庭福祉	2	必	○				保育士必 社福主必						◎			○	○							
基礎科目	保育者論	2	必	○				幼教必 保育士必				○	○	◎	○		○								
	教育・保育制度論	1	必			●		幼教必 保育士選				◎					○	○							
専門教育科目 基礎選択科目	子どもの健康と安全	[1]	選		●			保育士必				○	○	◎		○									
	子どもの栄養	[2]	選		○			保育士必				○	○	◎		○									
	子どもの歌と伴奏	(2)	必	◎											○	○	○								
	保育内容の理解と方法A(体育)	[1]	必		●			幼教必 保育士必						◎	○	○									
	保育内容の理解と方法B(音楽)	[1]	選			○		保育士必		隔週				◎	○	○	○								
	保育内容の理解と方法C(造形)	[1]	必		●			幼教必 保育士必				○			○			◎							
	保育内容の理解と方法D(言葉)	[1]	選		●			保育士必				○					○								
	保育の楽器実技A	(1)	選				○								○	○	○								
	保育の楽器実技B	(1)	選				○								○	○	○								
	保育の楽器実技C	(1)	選				○	保育士選							○	○	○								
	保育の造形実技A	[1]	選			○		幼教選		隔週					○			○							
	保育の造形実技B	[1]	選			○		幼教選		隔週					○			○							
	保育の運動実技A	[1]	選		○			幼教選		隔週					◎	○									
	保育の運動実技B	[1]	選			○		幼教選		隔週					◎	○									
保育理論科目	保育の計画と評価	2	選	○				保育士必						◎	○		○								
	カリキュラム論	2	選				○	幼教必						◎	○		○								
	保育内容総論	[1]	必		●			幼教必 保育士必						◎	○										
	保育方法論(情報機器の操作を含む)	2	選			○		幼教必 保育士選						◎	○			○							
	子ども家庭支援の心理学	2	選		○			保育士必				◎		○		○									
	保育(遊び)指導論	[1]	必		○			幼教必		隔週				○	○	○	◎	○							
	子ども理解と援助	[1]	必		●			幼教必 保育士必				○	◎												

児童学科 育児支援専攻(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

区分	授業科目	単位数	必修	標準開設年次				免許・資格必選別	他学科	備考	【知識・技能】			【思考力・判断力・表現力】			【主体性・多様性・協同性】		
				1	2	3	4				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
				前期	後期	前期	後期												
保育理論科目	教育相談	1	必			●		幼教必	保育士選			○	◎					○	
	子ども家庭支援論	2	必				○		保育士必			○	◎					○	
	社会的養護Ⅰ	2	選	○					保育士必		○		◎					○	○
	社会的養護Ⅱ	[1]	選	●					保育士必				◎		○			○	○
	社会福祉概論	2	選	○					保育士必	社福主必	●	○	○	◎				○	
	乳児保育Ⅰ	2	選		○				保育士必			○		○	◎		○		
	子育て支援	[1]	選			●			保育士必				○	◎		○			
	特別支援教育概論	1	必				●		幼教必	保育士選		◎		○	○	○			
専門教育科目	在宅保育	2	選				○			ベビ	必			○		◎			
	障がい児保育演習	[2]	必				○		保育士必			○		◎	○	○			
	乳児保育Ⅱ	[1]	選			●			保育士必				◎		○		○	○	
	保育内容演習(健康)	[1]	必	●					幼教必	保育士必		○	◎			○			
	保育内容演習(人間関係)	[1]	必	●					幼教必	保育士必		○	◎			○		○	○
	保育内容演習(環境)	[1]	必	○					幼教必	保育士必				○	◎			○	
	保育内容演習(言葉)	[1]	必			●			幼教必	保育士必				◎	○		○	○	○
	保育内容演習(表現)	[1]	必	○					幼教必	保育士必				◎	○		○		
	幼児と健康	[1]	選必				●		幼教必			○	○	◎					
	幼児と人間関係	[1]	選必				●		幼教必				○	○				○	◎
	幼児と環境	[1]	選必				●		幼教必				○		◎				○
	幼児と言葉	[1]	選必				●		幼教必				○		◎	○	○	○	
	幼児と表現	[1]	選必				●		幼教必				○		◎	○	◎		
	保育内容「健康」の指導法	[1]	選				●		幼教必				◎		○		○		
	保育内容「人間関係」の指導法	[1]	選				●		幼教必			○	○	◎	○	○	○		
	保育内容「環境」の指導法	[1]	選				●		幼教必			◎		○		○		○	
	保育内容「言葉」の指導法	[1]	選				●		幼教必					◎	○		○	○	
保育内容「表現」の指導法	[1]	選				●		幼教必				○		◎		○			
音楽表現	[1]	選				○		幼教必	保育士選				○	○		◎			
造形表現	[1]	選				○		幼教必	保育士選				◎		○		○	○	
演劇表現	[1]	選				○		幼教必	保育士選				◎		○			○	
保育キャリア支援演習	[1]	選					○											◎	
保育のパソコン	[2]	選					○					○	◎		○	○			

児童学科 育児支援専攻(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

区分	授業科目	単位数	必修	標準開設年次				免許・資格必選別	他学科	備考	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9						
				1	2	3	4				【知識・技能】									【思考力・判断力・表現力】			【主体性・多様性・協同性】		
				前期	後期	前期	後期				児童学が、保育・心理・文化・福祉・保健の5分野から成ることを理解し、説明することができる。	児童学の諸分野の学修を通して、子どもの特性を理解し、具体的に説明することができる。	子どもの健やかな育ちを保障し、促進するための技法や技術のいくつかを発揮することができる。	子どもにとっての幸福について、多様な考えをもつことができる。	子どもの生活や遊びの充実に向けた保育を構想することができる。	子ども一人ひとりの特徴や必要性に応じて、保育環境を工夫することができる。	子どもの姿や振る舞いに喜びを感じ、子どもとかわることができる。	自らの考えを持ちながら、多様な考え方を受け入れることができる。	児童学の学びをもとに、社会に貢献するために他者と協同して考えることができる。						
児童学研究科目(育児支援専攻)	育児支援特別講義A	2	選				○					○		○	◎										
	育児支援特別講義B	2	選				○			○			○				◎	○							
	育児支援特別講義C	2	選				○				○		◎				○								
	育児支援特別講義D	2	選				○			○			◎			○	○								
	育児支援特別演習A	[2]	選				○						◎					○							
	育児支援特別演習B	[2]	選				○				◎		○				○								
	育児支援特別演習C	[2]	選				○						○					◎							
	育児支援特別演習D	[2]	選				○						○		◎		○	○							
	総合研究科目	ゼミナールⅠ	[2]	必				◎			○	○							◎						
		ゼミナールⅡ	[2]	必				◎			○	○							◎						
		卒業研究	[4]	必				◎			○		○	○					◎						
	実習科目	学内育児支援施設実習	(1)	必	◎								○	◎	○	○	○								
		育児支援実習	(1)	必	◎										○	○	◎								
		教育実習(幼)	(4)	選			◎	○	幼教必						○	○	◎	○	○						
教育実習事前事後指導(幼)		(1)	選				○	幼教必			○			○	◎	◎									
教職・保育実践演習		[2]	選				○	幼教必 保育士必						○	○		○	◎							
保育実習指導Ⅰ(保育所)		[1]	選			○	○	保育士必					◎	○	○										
保育実習指導Ⅰ(施設)		[1]	選				○	保育士必					◎	○	○										
保育実習Ⅰ		(4)	選			○	○	保育士必					○	◎	○	◎	○	○							
保育実習指導Ⅱ		[1]	選				○	保育士選	①			◎	○												
保育実習Ⅱ		(2)	選				○	保育士選			○	◎	◎	○	○	○		○							
保育実習指導Ⅲ	[1]	選				○	保育士選	②		◎		○					○								
保育実習Ⅲ	(2)	選				○	保育士選			○		◎					○								
科理教育にの関する基礎的	教育原論	2	選		○			幼教必 保育士必			○		◎				○								
	教育心理学	2	選		○			幼教必 保育士選		◎				○	○										

【資料1-2】

初等教育学科(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

専門教育科目										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
区分	授業科目	単位数	必修	標準開設年次				免許・資格 必選別	他学科	備考	【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体性・多様性・協同性】					
				1	2	3	4				教育の目的、歴史、思想に関する基本的な知識を有し理解している。	子どもの発達の連続性や社会、制度に関する基本的な知識を有し理解している。	教育の内容や方法についての基本的な知識を理解し、技能を有している。	授業・保育を行うための知識・技能を活用し、状況に応じた実践ができる。	自身の教育活動を省察し、課題解決に向けて探究しつづつ、専門性の向上を図ることができる。	教育についての信念や教育観をもち、使命感、責任感、教育愛を有している。	人権を尊重し、多様性を認め、広い視野をもつことができる。	他者と共感的にコミュニケーションをとり、人間関係を築くことができる。
教育の基礎	専門ゼミナールⅠ	2	必			○				○	○	○	○	◎	○			
	専門ゼミナールⅡ	2	必			○				○	○	○	◎	◎	○			
	卒業論文	4	必						◎	○	○	○			○	◎	○	
	発達心理学	2	必	○							◎							
	教育方法論	1	選		○			小教必	幼教必	(教職に関する科目)		◎			○			
	教育におけるICT活用	1	選			○		小教必	幼教必	(教職に関する科目)		◎			○			
	教育課程論	2	選		○			小教必	幼教必	(教職に関する科目)	○	◎			○	○		
	授業実践演習Ⅰ	2	必	○						○	○	◎	○					◎
	授業実践演習Ⅱ	2	必			○						◎	◎	○	○			◎
	生徒・進路指導論	2	選			○		小教必		(教職に関する科目)		◎			○	○		
	教育相談の理論と方法	2	選	○				小教必		(教職に関する科目)		◎				○		
	総合的な学習の時間の指導法	1	選			○		小教必		(教職に関する科目)		○	◎		○			○
	特別活動の指導法	1	選			○		小教必		(教職に関する科目)			○	◎			○	
	教職実践演習(幼・小)	2	選				○	小教必	幼教必	(教職に関する科目)			○	◎	○			○
	障害と教育	2	選	○								○	○		◎	○		
	特別支援教育概論	1	選		○			小教必	幼教必	(教職に関する科目)	○	◎	○				○	
	特別支援教育研究	2	選			○						○		◎	○			
	学級経営論	1	選			○		小教選			○	◎	○		○	○		
	レクリエーション実践演習	2	選	○					幼教選	(教職に関する科目)			○	◎				○
	インターンシップ	4	選			◎							○	◎	○	○	○	○
専門教育科目	国語科教育内容	2	必	○				小教選		○		◎	○			○	○	
	社会科教育内容	2	必			○		小教選			○	◎	○			○	○	
	算数科教育内容	2	必			○		小教選			○	◎	○			○	○	
	理科教育内容	2	必			○		小教選			○	◎	○			○	○	
	生活科教育内容	1	必			○		小教選		○	○	◎	○			○		
	子どもの思考とプログラミング	1	必	○				小教選				○	◎	○				○
	家庭科教育内容	1	必	○				小教選				○	◎					
	英語科教育内容	2	必			○		小教選		○	◎				○			○
	道徳教育の理論	1	必	○				小教必		◎	○					◎		○
	音楽基礎Ⅰ	2	必	○				小教必				◎	○					○
	音楽基礎Ⅱ	2	必	○				小教必				◎	○					○
	造形基礎Ⅰ	2	必	○				小教必				◎	◎	○				○
	造形基礎Ⅱ	2	必	○				小教必				◎	◎	○				○
	体育基礎実技Ⅰ	1	必	○				小教必				○	◎	○	○			
	体育基礎実技Ⅱ	1	必		○			小教必				○	◎	○	○			
教科の実践的指導(小)	国語科教育法	2	選			○		小教必	(教職に関する科目)			○	◎	◎	○			○
	社会科教育法	2	選			○		小教必	(教職に関する科目)			○	◎	○	○			○
	算数科教育法	2	選			○		小教必	(教職に関する科目)	○		◎	◎	◎	○			○
	理科教育法	2	選			○		小教必	(教職に関する科目)	○		◎	◎	◎	○			○
	生活科教育法	2	選			○		小教必	(教職に関する科目)	○		◎	◎	◎	○			○
	音楽科教育法	2	選	○				小教必	(教職に関する科目)	○		◎	◎		○		○	○

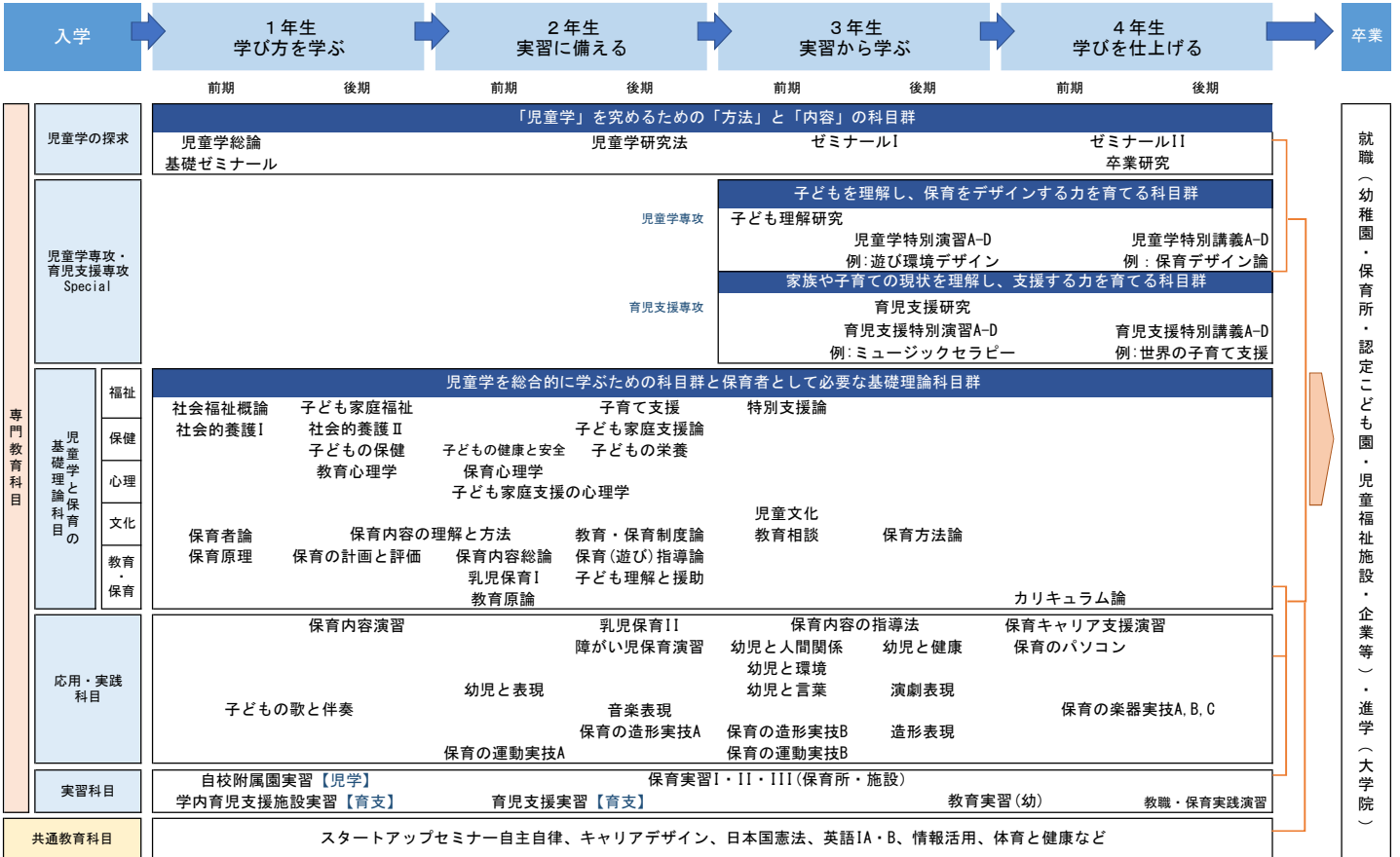
初等教育学科(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

専門教育科目										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
区分	授業科目	単位数	必修	標準開設年次				免許・資格 必修	他学科	備考	【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体性・多様性・協同性】					
				1	2	3	4				教育の目的、歴史、思想に関する基本的な知識を有し理解している。	授業・保育を行うための知識・技能を活用し、状況に応じた実践ができる。	教育についての信念や教育観をもち、使命感、責任感、教育愛を有している。	人権を尊重し、多様性を認め、広い視野をもつことができる。	他者と共感的にコミュニケーションをとり、人間関係を築くことができる。			
				前期	後期	前期	後期											
教 科 の 実 践 的 指 導 (小)	図工科教育法	2	選		○			小教必		(教職に関する科目)	○		◎	◎	○			○
	家庭科教育法	2	選			○		小教必		(教職に関する科目)		○		◎	○			○
	体育科教育法	2	選			○		小教必		(教職に関する科目)		○	○	◎	○			○
	英語科教育法	2	選				○	小教必		(教職に関する科目)			◎	○	○			○
	道徳教育法	1	選			○		小教必		(教職に関する科目)			○	◎	○	○		
	国語科教育演習	[2]	選				○	小教選					◎	○	○	○	○	○
	社会科教育演習	[2]	選				○	小教選					◎	○	○	○	○	○
	算数科教育演習	[2]	選				○	小教選					◎	○	○	○		○
	理科教育演習	[2]	選				○	小教選					◎	○	○	○		○
	英語科教育演習	[2]	選				○	小教選			○		◎	○	○			○
	教育実習 事前事後指導(小)	(1)	選				○	小教必		(教職に関する科目)	○		◎	○	○	○		
	教育実習(小)	(4)	選					◎	小教必	幼教必	(教職に関する科目)			○	◎	○	○	○
専 門 教 育 科 目	幼児と健康	[2]	選	○				幼教必		(教職に関する科目)			◎	○	○	○		
	幼児と人間関係	[2]	選		○			幼教必		(教職に関する科目)		○	◎	○	○		○	○
	幼児と環境	[2]	選		○			幼教必		(教職に関する科目)	○	○	◎	○	○			○
	幼児と言葉	[2]	選	○				幼教必		(教職に関する科目)	○	○	◎	○	○	○		
	幼児と表現A	[2]	選		○			幼教必		(教職に関する科目)			◎	○	○			
	幼児と表現B	[2]	選		○			幼教必		(教職に関する科目)		○	◎	○	○			
	保育指導論	2	選		○			幼教必		(教職に関する科目)	○	○	◎			○		
	保育内容の指導法(健康)	[2]	選			○		幼教必		(教職に関する科目)			◎	○	○	○		
	保育内容の指導法(人間関係)	[2]	選				○	幼教必		(教職に関する科目)		○	◎	○	○		○	○
	保育内容の指導法(環境)	[2]	選				○	幼教必		(教職に関する科目)	○	○	◎	○	○			○
	保育内容の指導法(言葉)	[2]	選				○	幼教必		(教職に関する科目)	○	○	◎	○	○	○		
	保育内容の指導法(表現A)	[2]	選			○		幼教必		(教職に関する科目)			◎	○	○			
	保育内容の指導法(表現B)	[2]	選			○		幼教必		(教職に関する科目)		○	◎	○	○			
	幼児理解と教育相談	2	選			○		幼教必		(教職に関する科目)		◎	○				○	○
	教育実習 事前事後指導(幼)	(1)	選			○		幼教必		(教職に関する科目)	○		◎	○	○	○		
教育実習(幼)	(2)	選				○	幼教必		(教職に関する科目)			○	◎	○	○	○	○	
資 格 関 連 科 目	自然体験活動実習	(2)	選		◎			幼教選	キャンプ	前期+夏休み集中			○		◎		○	○
	学校経営と学校図書館	2	選				○	図書教必				◎		○	○	○		
	学校図書館メディアの構成	2	選				○	図書教必				◎		○	○			
	学習指導と学校図書館	2	選				○	図書教必			○	◎		○				○
	読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	2	選				○	図書教必			○	◎		○	○	○		○
教 職 課 程 科 目	教育原論	2	選	○				小教必	幼教必	改称・開講期変更	◎	○	○					
	教職基礎論	1	選	○				小教必	幼教必	新設	○	○	◎			○		
	教育心理学	2	選		○			小教必	幼教必									
	教育制度論	2	選			○		小教必	幼教必									

【資料2-1】

カリキュラムツリー：児童学科

児童学の学修を学びの柱とし、幼稚園教諭一種免許及び保育士資格の取得に向け、保育者に必要とされる知識や技術、実践力や態度を高める学修内容を提供します。



就職（幼稚園・保育所・認定こども園・児童福祉施設・企業等）・進学（大学院）

【資料2-2】

カリキュラムツリー：初等教育学科

		1年生		2年生		3年生		4年生		卒業		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	共通教育科目	教育原論 教育心理学 教育制度論 学校教育心理学 その他、スタートアップセミナー自主自律、キャリアデザイン、日本国憲法、英語IA・B、情報活用、体育と健康など										
	学士力育成	専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ 卒業論文										
	実践力育成	発達心理学	教育課程論	教育方法論	教育におけるICT活用	学級経営論						
			教育相談の理論と方法 障害と教育	特別支援教育概論	生徒・進路指導論 特別活動の指導法	特別支援教育研究						
		教職基礎論	基礎ゼミナール 授業実践演習Ⅰ						インターンシップ	授業実践演習Ⅱ	教育実習	教職実践演習
			国語科教育内容						国語科教育法		国語科教育演習	社会科教育演習 算数科教育演習 理科教育演習
	子どもの思考とプログラミング	音楽家教育法	図工科教育法	社会科教育内容	社会科教育法	算数科教育内容	算数科教育法	理科教育内容	理科教育法	生活科教育内容	生活科教育法	
	音楽基礎Ⅰ 造形基礎Ⅰ	音楽基礎Ⅱ 造形基礎Ⅱ	家庭科教育法	家庭科教育法	体育基礎実技Ⅰ	体育基礎実技Ⅱ	体育科教育法	道徳教育の理論	道徳教育法	総合的な学習の指導法		
									英語科教育内容	英語科教育法	英語科教育演習	
保育の実践的指導(幼)	レクリエーション実践演習	幼児と言葉	幼児と健康	幼児と表現A	幼児と表現B	保育指導論	幼児理解と教育相談	保育内容の指導法(言葉)	保育内容の指導法(健康)	保育内容の指導法(環境) 保育内容の指導法(人間関係)		
資格関連科目	【学校図書館司書教諭】							学校経営と学校図書館	学校図書館メディアの構成	学習指導と学校図書館	情報メディアの活用	
	【キャンピングインストラクター】	自然体験活動実習										

小学校教諭

就職・進学

幼稚園教諭

【資料3-1】

履修モデル(児童学科 児童学専攻)【1, 2年次】

区分	1年前期					1年後期					2年前期					2年後期									
	科目名	単位数	免許・資格				科目名	単位数	免許・資格				科目名	単位数	免許・資格				科目名	単位数	免許・資格				
			幼児・保育士	幼児のみ	保育士のみ	+ 幼児・保育士 + 図書館司書			幼児・保育士	幼児のみ	保育士のみ	+ 幼児・保育士 + 図書館司書			幼児・保育士	幼児のみ	保育士のみ	+ 幼児・保育士 + 図書館司書			幼児・保育士	幼児のみ	保育士のみ	+ 幼児・保育士 + 図書館司書	
学科・専攻基礎科目	児童学総論	2	○	○	○	○	子ども家庭福祉	2	○	○	○	○	保育心理学	2	○	○	○	○	児童学研究法	[1]	○	○	○	○	
	保育原理	2	○	○	○	○	子どもの保健	2	○	○	○	○													
基礎科目	保育者論	2	○	○	○	○																			
基礎選択科目	子どもの歌と伴奏	(1)	○	○	○	○	子どもの歌と伴奏	(1)	○	○	○	○	子どもの健康と安全	[1]	○	○	○	○	子どもの栄養	[2]	○	○	○	○	
							保育内容の理解と方法A(体育)	[1]	○	○	○	○	保育の運動実技A	[1]	○				保育内容の理解と方法B(音楽)	[1]	○	○	○	○	
							保育内容の理解と方法C(造形)	[1]	○	○	○	○							保育の造形実技A	[1]	○	○	○		
							保育内容の理解と方法D(言葉)	[1]	○	○	○	○													
専門教育科目	社会福祉概論	2	○	○	○	○	社会的養護Ⅱ	[1]	○	○	○	○	保育内容総論	[1]	○	○	○	○	子ども理解と援助	[1]	○	○	○	○	
	社会的養護Ⅰ	2	○	○	○	○	保育の計画と評価	2	○	○	○	○	子ども家庭支援の心理学	2	○	○	○	○	子ども家庭支援論	2	○	○	○	○	
													乳児保育Ⅰ	2	○	○	○	○	子育て支援	[1]	○	○	○	○	
保育実践科目	保育内容演習(健康)	[1]	○	○	○	○	保育内容演習(人間関係)	[1]	○	○	○	○	幼児と表現	[1]	○	○	○	○	乳児保育Ⅱ	[1]	○	○	○	○	
							保育内容演習(表現)	[1]	○	○	○	○	保育内容「表現」の指導法	[1]	○	○	○	○	障がい児保育演習	[2]	○	○	○	○	
							保育内容演習(環境)	[1]	○	○	○	○							音楽表現	[1]	○	○	○	○	
児童学研究科目(児童学専攻)																									
総合研究科目																									
実習科目	自校附属園実習	(0.5)	○	○	○	○	自校附属園実習	(0.5)	○	○	○	○							保育実習指導Ⅰ(保育所)	[0.5]	○	○	○	○	
																			保育実習Ⅰ	(2)	○	○	○	○	
共通教育科目	スタートアップセミナー自主自律基礎ゼミナール	2	○	○	○	○																			
	コミュニケーション論※人間教育基礎科目	2				○	人間教育基礎科目	2					日本国憲法※人間教育基礎科目	2	○	○	○	○							
	人間教育基礎科目★	2	○	○	○	○	人間教育基礎科目	2																	
	人間教育演習科目	2					人間教育演習科目	2	○	○	○	○													
	人間教育演習科目	2					人間教育演習科目	2																	
	人間教育演習科目	2					人間教育演習科目	2																	
	人間教育演習科目	2					人間教育演習科目	2																	
	人間教育演習科目	2					人間教育演習科目	2																	
	教育心理学	2	○	○	○	○	○	教育心理学	2	○	○	○	○	教育原論	2	○	○	○	○						
	英語ⅠA	[1]	○	○	○	○	○	英語ⅠB	[1]	○	○	○	○	英語ⅡA	[1]	○	○	○	○	英語ⅡB	[1]	○	○	○	○
情報活用	[2]	○	○	○	○	○	ドイツ・フランス・中国・ロシア語Ⅰ	[1]											ドイツ・フランス・中国・ロシア語Ⅱ	[1]					
からだとスポーツA	(1)						からだとスポーツB	(1)	○	○	○	○							体育と健康	1	○	○	○	○	
図書館司書に関する科目	図書館概論	2				○							生涯学習概論	2				○	児童サービス論	2				○	
													図書館制度・経営論	2				○	図書館情報資源概論	2				○	
													図書館サービス概論	2				○							
履修モデル別単位数合計	前期	22	22	22	24		後期	21	21	21	21		前期	15.0	16.0	15.0	21.0		後期	19.5	17.0	19.5	22.5		
							年間	42.0	42.0	42.0	44.0									年間	34.5	33.0	34.5	43.5	

★「人間教育科目」のうち「人間教育基礎科目」4単位以上、「人間教育演習科目」2単位以上選択必修

※ ○印は卒業、免許資格の取得に必要な修得例を示している。○印がついていないものは興味に応じて修得できるよう配置されている科目である。

※ []は演習科目、()は実習及び実技を示す。

※ 網掛け+斜体文字の科目は通年科目、または年度をまたがっている科目である。各開講期に表記されている単位数の合計が、その科目に定められた単位数となる。

※ 幼稚園教諭免許及び保育士資格については、原則両方取得するよう必要科目を履修する。なお、図書館司書資格に関しては、各自の関心に応じて取得を判断する。

履修モデル(児童学科 育児支援専攻)【1, 2年次】

区分	1年前期					1年後期					2年前期					2年後期										
	科目名	単位数	免許・資格				科目名	単位数	免許・資格				科目名	単位数	免許・資格				科目名	単位数	免許・資格					
			幼児・保育士	幼児のみ	保育士のみ	十 + ベ ビ ー シ ン タ ー			幼児・保育士	幼児のみ	保育士のみ	十 + ベ ビ ー シ ン タ ー			幼児・保育士	幼児のみ	保育士のみ	十 + ベ ビ ー シ ン タ ー			幼児・保育士	幼児のみ	保育士のみ	十 + ベ ビ ー シ ン タ ー		
専門 教育 科目	学科・専 攻基礎科 目	児童学総論	2	○	○	○	○	子ども家庭福祉	2	○	○	○	○	保育心理学	2	○	○	○	○	児童学研究法	[1]	○	○	○	○	
		保育原理	2	○	○	○	○	子どもの保健	2	○	○	○	○													
	基礎科目	保育者論	2	○	○	○	○																			
	基礎選択 科目	子どもの歌と伴奏	(1)	○	○	○	○	子どもの歌と伴奏	(1)	○	○	○	○	子どもの健康と安全	[1]	○	○	○	○	保育内容の理解と方 法B(音楽)	[1]	○	○	○	○	
								保育内容の理解と方 法A(体育)	[1]	○	○	○	○	子どもの栄養	[2]	○	○	○	○	保育の造形実技A	[1]	○	○	○	○	
								保育内容の理解と方 法C(造形)	[1]	○	○	○	○	保育の運動実技A	[1]											
								保育内容の理解と方 法D(言葉)	[1]	○	○	○	○													
	保育理論 科目	社会福祉概論	2	○	○	○	○	社会的養護Ⅱ	[1]	○	○	○	○	保育内容総論	[1]	○	○	○	○	子ども理解と援助	[1]	○	○	○	○	
		社会的養護Ⅰ	2	○	○	○	○	保育の計画と評価	2	○	○	○	○	子ども家庭支援の心 理学	2	○	○	○	○	子ども家庭支援論	2	○	○	○	○	
														乳児保育Ⅰ	2	○	○	○	○	子育て支援	[1]	○	○	○	○	
	保育実践 科目	保育内容演習(健康)	[1]	○	○	○	○	保育内容演習(人間 関係)	[1]	○	○	○	○	幼児と表現	[1]	○	○	○	○	乳児保育Ⅱ	[1]	○	○	○	○	
								保育内容演習(環境)	[1]	○	○	○	○	保育内容「表現」の指 導法	[1]	○	○	○	○	障がい児保育演習	[2]	○	○	○	○	
								保育内容演習(表現)	[1]	○	○	○	○							音楽表現	[1]	○	○	○	○	
	児童学研 究科目 (育児支援 専攻)																			保育内容演習(言葉)	[1]	○	○	○	○	
	総合研 究科目																									
	実習科目	学内育児支援施設 実習	(0.5)	○	○	○	○	学内育児支援施設 実習	(0.5)	○	○	○	○	育児支援実習	(0.5)	○	○	○	○	育児支援実習	(0.5)	○	○	○	○	
																					保育実習指導Ⅰ(保 育所)	[0.5]	○	○	○	○
																				保育実習Ⅰ	(2)	○	○	○	○	
	共通 教育 科目	コア科目	スタートアップセ ミナー自主自律	2	○	○	○	○																		
			基礎ゼミナール	2	○	○	○	○																		
人間教育 科目		人間教育基礎科目	2	○	○	○	○	人間教育基礎科目	2					日本国憲法 ※人間教育基礎科目	2	○	○	○	○							
		人間教育基礎科目	2					人間教育基礎科目	2																	
		人間教育演習科目	2					人間教育演習科目	2	○	○	○	○													
		人間教育演習科目	2					人間教育演習科目	2																	
教職課程 科目							教育心理学	2	○	○	○	○	教育原論	2	○	○	○	○								
言語文 化・情報 関連・体 育関連 科目		英語ⅠA	[1]	○	○	○	○	英語ⅠB	[1]	○	○	○	○	英語ⅡA	[1]	○	○	○	○	英語ⅡB	[1]	○	○	○	○	
		情報活用	[2]	○	○	○	○	ドイツ・フランス・中 国・ロシア語Ⅰ	[1]											ドイツ・フランス・中 国・ロシア語Ⅱ	[1]					
		からだとスポーツA	(1)					からだとスポーツB	(1)	○	○	○	○							体育と健康	1	○	○	○	○	
履修モデル別 合計単位数		前期	22	22	22	22		後期	21	21	21	21		前期	18	18	18	18		後期	18.0	15.5	18.0	18.0		
							年間	42.0	42.0	42.0	42.0									年間	35.5	33.0	35.5	35.5		

★「人間教育科目」のうち「人間教育基礎科目」4単位以上、「人間教育演習科目」2単位以上選択必修

※ ○印は卒業、免許資格の取得に必要な修得例を示している。○印がついていないものは興味に応じて修得できるよう配置されている科目である。

※ []は演習科目、()は実習及び実技を示す。

※ 網掛け・斜体文字の科目は通年科目、または年度をまたがっている科目である。各開講期に記載されている単位数の合計が、その科目に定められた単位数となる。

※ 幼稚園教諭免許及び保育士資格については、原則取得するよう必要科目を履修する。なお、認定ベビーシッター資格に関しては、各自の関心に依りて取得を判断する。

履修モデル(初等教育学科)【3, 4年次】

区分	3年前期					3年後期					4年前期					4年後期					
	科目名	単位数	免許・資格			科目名	単位数	免許・資格			科目名	単位数	免許・資格			科目名	単位数	免許・資格			
			小免のみ(基本モデル)	小免・幼児	+キャン・小免+学校図書館			小免のみ(基本モデル)	小免・幼児	+キャン・小免+学校図書館			小免のみ(基本モデル)	小免・幼児	+キャン・小免+学校図書館			小免のみ(基本モデル)	小免・幼児	+キャン・小免+学校図書館	
教育の基礎	専門ゼミナールⅠ	[2]	○	○	○	専門ゼミナールⅡ	[2]	○	○	○	卒業論文	2	○	○	○	卒業論文	2	○	○	○	
	特別支援教育研究	2	○	○	○	授業実践演習Ⅱ	[2]	○	○	○					教職実践演習(幼・小)	[2]	○	○	○		
	インターンシップ	(2)	○			学級経営論	1														
						総合的な学習の時間の指導法	1	○	○	○											
専門教育科目	社会科教育内容	2	○	○	○	社会科教育法	2	○	○	○	国語科教育演習	[2]	○		○	社会科教育演習	[2]	○		○	
	算数科教育内容	2	○	○	○	算数科教育法	2	○	○	○	英語科教育演習	[2]	○		○	算数科教育演習	[2]	○		○	
	理科教育内容	2	○	○	○	理科教育法	2	○	○	○	教育実習(小)	(2)	○	○	○	理科教育演習	[2]	○		○	
	生活科教育内容	2	○	○	○	生活科教育法	2	○	○	○					教育実習(小)	(2)	○		○		
	英語科教育内容	2	○	○	○	英語科指導法	2	○	○	○											
						教育実習事前事後指導(小)	(1)	○	○	○											
保育の実践的指導(幼)	保育内容の指導法(表現A)	[2]		○		保育内容の指導法(表現B)	[2]		○		保育内容の指導法(健康)	[2]		○		保育内容の指導法(環境)	[2]		○		
	幼児理解と教育相談	2		○		教育実習(幼)	(2)		○		保育内容の指導法(人間関係)	[2]		○		保育内容の指導法(言葉)	[2]		○		
	教育実習事前事後指	(1)		○																	
資格関連科目											学校経営と学校図書館	2			○	学校図書館メディアの構成	2			○	
											読書と豊かな人間性	2			○	学習指導と学校図書館	2			○	
															○	情報メディアの活用	2			○	
共通教育科目	コア科目										キャリアデザイン	2	○	○	○						
	人間教育科目★										人間教育基礎科目	2									
											人間教育基礎科目	2									
											人間教育演習科目	2									
教職課程科目	教育制度論	2	○	○	○						人間教育演習科目	2									
言語文化・情報関連・体育関連科目	英語上級A	[1]			○	英語上級B	[1]			○											
履修モデル別単位数合計	前期	18	19	20	21	後期	18	20	21	21	前期	10	10	14	18	後期	12	10	18	22	
	年間	36	39	41	42	年間	36	39	41	42	年間	22	20	32	40	年間	22	20	32	40	
★「人間教育科目」のうち「人間教育基礎科目」4単位以上、「人間教育演習科目」2単位以上選択必修																	4年間合計単位数	124	141	143	164

※ ○印は卒業、免許資格の取得に必要な修得例を示している。

※ []は演習科目、()は実習及び実技を示す。

※ 網掛け+斜体文字の科目は通年科目である。各開講期に表記されている単位数の合計が、その科目に定められた単位数となる。

※ 小学校教諭免許については、原則取得するよう必要科目を履修する。幼稚園教諭免許を希望する場合は両方の必要科目を履修する。

キャンピンストラクター・学校図書館司書教諭に関しては、各自の関心に応じて取得を判断する。

ここでは「小学校教諭+学校図書館司書教諭」「小学校教諭・幼稚園教諭+キャンピンストラクター・学校図書館司書教諭」を選択した場合を履修モデルとして示す。

既 修 得 科 目 認 定 申 請 書

《授業科目区分名： 共通教育科目 》

編入学or学士入学後の学籍番号： _____

児 童 学 科

児童学専攻

3 年

氏名 _____

出身校・科 _____

学科長印

共通教育推進室長印

保育科 既修得科目 (見込含む)		東京家政大学の科目			認定・指導内容 (○で囲み、条件認定の場合は指導内容を記入してください)	担当責任学科	担当者	備考
科目名	単位数	成績	科目名	単位数				
自校・初年度教育科目	2		スタートアップセミナー自主自律	2	KK0116	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室	
キャリアデザイン	1							
日本国憲法	2		日本国憲法	2	KK0133	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室	
生活経営学	2		生活経営学	2	KK0126	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室	
生命科学	2		生命科学入門	2	KK0136	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室	
ジェンダー論	2		ジェンダー論に学ぶ	2	KK0124	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室	
家政学原論	2		家政学原論	2	KK0125	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室	
子どものうた	2							
化学	2							
パソコン基礎	[2]		情報活用	[2]	KK0200	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室	
からだとスポーツ	(1)		からだとスポーツA	(1)	KK0202	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室	
体育と健康	1		体育と健康	1	KK0201	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室	

★太枠内に成績を記入してください。現在履修中の科目は「*」、修得していない科目には「/」、履修登録をしているが授業に出席していない科目には、「×」を記入してください。

既 修 得 科 目 認 定 申 請 書

《 授 業 科 目 区 分 名 : 教 職 に 関 する 科 目 》

編入学or学士入学後の学籍番号: _____

児 童 学 科 児 童 学 専 攻

3 年 氏名 _____

出身校名・科 _____

学科長印	教職センター所長印

保育科 既修得科目 (見込含む)			東京家政大学の科目			認 定 ・ 指 導 内 容 (○で囲み、条件認定の場合は指導内容を記入してください)	担 当 者	備 考
科 目 名	単 位 数	成 績	科 目 名	単 位 数	科目コード			
教育原論	2		教育原論	2	KS5077 (共通認定)	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		
教育心理学	2		教育心理学	2	KS5078 (共通認定)	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		
教育実習 (幼)	(4)		教育実習 (幼)	(4)	KS5080	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		
教育実習事前事後指導 (幼)	(1)		教育実習事前事後指導 (幼)	(1)	KS5079	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		
教職・保育実践演習	[2]		教職・保育実践演習	[2]	KS5081	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		

★太枠内に成績を記入してください。現在履修中の科目は「*」、修得していない科目には「/」、履修登録をしているが授業に出席していない科目には、「×」を記入してください。

既 修 得 科 目 認 定 申 請 書

《 授 業 科 目 区 分 名 : _____ 共通教育科目 _____ 》

編入学or学士入学後の学籍番号: _____

児 童 学 科 _____ 育児支援専攻 _____

3 年 氏 名 _____

出身校・科 _____

学科長印	共通教育推進室長印

保育科 既修得科目 (見込含む)			東京家政大学の科目			認 定 ・ 指 導 内 容 (○で囲み、条件認定の場合は指導内容を記入してください)	配 当 責 任 学 科	担 当 者	備 考
科 目 名	単 位 数	成 績	科 目 名	単 位 数	科 目 コー ド				
自校・初年度教育科目	2		スタートアップセミナー自主自律	2	KK0116	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()	共通教育推進室		
キャリアデザイン	1		/	/	/				
日本国憲法	2		日本国憲法	2	KK0133	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()	共通教育推進室		
生活経営学	2		生活経営学	2	KK0126	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()	共通教育推進室		
生命科学	2		生命科学入門	2	KK0136	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()	共通教育推進室		
ジェンダー論	2		ジェンダー論に学ぶ	2	KK0124	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()	共通教育推進室		
家政学原論	2		家政学原論	2	KK0125	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()	共通教育推進室		
子どものうた	2		/	/	/				
化学	2		/	/	/				
パソコン基礎	[2]		情報活用	[2]	KK0200	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()	共通教育推進室		
からだとスポーツ	(1)		からだとスポーツA	(1)	KK0202	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()	共通教育推進室		
体育と健康	1		体育と健康	1	KK0201	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()	共通教育推進室		

★太枠内に成績を記入してください。現在履修中の科目は「*」、修得していない科目には「/」、履修登録をしているが授業に出席していない科目には、「×」を記入してください。

既 修 得 科 目 認 定 申 請 書

《 授 業 科 目 区 分 名 : 専 門 教 育 科 目 》

編入学or学士入学後の学籍番号: _____

学科長印

 児 童 学 科 育 児 支 援 専 攻 3 年 氏 名 出 身 校 名 ・ 科

保育科 既修得科目 (見込含む)			東京家政大学の科目			認 定 ・ 指 導 内 容 (○で囲み、条件認定の場合は指導内容を記入してください)	担 当 者	備 考
科 目 名	単 位 数	成 績	科 目 名	単 位 数	科 目 コード			
保育心理学	2		保育心理学	2	SM5881	認定・否・条件認定 ()		
子ども家庭福祉	2		子ども家庭福祉	2	SM5883	認定・否・条件認定 ()		
子どもの保健	2		子どもの保健	2	SM5882	認定・否・条件認定 ()		
保育原理	2		保育原理	2	SM3784	認定・否・条件認定 ()		
児童文化	1							
保育者論	1		保育者論	2	SM5884	認定・否・条件認定 ()		
保育者論 (各論)	1							
教育・保育制度論	1		教育・保育制度論	1	SM5885	認定・否・条件認定 ()		
保育の計画と評価	2		保育の計画と評価	2	SM5933	認定・否・条件認定 ()		
カリキュラム論	2		カリキュラム論	2	SM5899	認定・否・条件認定 ()		
保育方法論 (情報機器の操作を含む)	2		保育方法論 (情報機器の操作を含む)	2	SM3741	認定・否・条件認定 ()		
特別支援教育概論	1		特別支援教育概論	1	SM5910	認定・否・条件認定 ()		
乳児保育 I	2		乳児保育 I	2	SM5908	認定・否・条件認定 ()		
乳児保育 II	[1]		乳児保育 II	[1]	SM5911	認定・否・条件認定 ()		
保育内容総論	[1]		保育内容総論	[1]	SM5900	認定・否・条件認定 ()		
保育内容の理解と方法A (体育)	[1]		保育内容の理解と方法A (体育)	[1]	SM5888	認定・否・条件認定 ()		
保育内容の理解と方法B (音楽)	[1]		保育内容の理解と方法B (音楽)	[1]	SM5889	認定・否・条件認定 ()		
保育内容の理解と方法C (造形)	[1]		保育内容の理解と方法C (造形)	[1]	SM5890	認定・否・条件認定 ()		
保育内容の理解と方法D (言葉)	[1]		保育内容の理解と方法D (言葉)	[1]	SM5891	認定・否・条件認定 ()		
保育内容演習 (健康)	[1]		保育内容演習 (健康)	[1]	SM3745	認定・否・条件認定 ()		
保育内容演習 (人間関係)	[1]		保育内容演習 (人間関係)	[1]	SM3746	認定・否・条件認定 ()		
保育内容演習 (環境)	[1]		保育内容演習 (環境)	[1]	SM3747	認定・否・条件認定 ()		
保育内容演習 (言葉)	[1]		保育内容演習 (言葉)	[1]	SM5912	認定・否・条件認定 ()		
保育内容演習 (表現)	[1]		保育内容演習 (表現)	[1]	SM5913	認定・否・条件認定 ()		
幼児と健康	[1]		幼児と健康	[1]	SM5914	認定・否・条件認定 ()		
幼児と人間関係	[1]		幼児と人間関係	[1]	SM5915	認定・否・条件認定 ()		
幼児と環境	[1]		幼児と環境	[1]	SM5916	認定・否・条件認定 ()		
幼児と言葉	[1]		幼児と言葉	[1]	SM5917	認定・否・条件認定 ()		
幼児と表現	[2]		幼児と表現	[1]	SM5918	認定・否・条件認定 ()		
子どもの歌と伴奏	(1)					認定・否・条件認定 ()		
音楽表現	[1]		音楽表現	[1]	SM5924	認定・否・条件認定 ()		

既 修 得 科 目 認 定 申 請 書

《 授 業 科 目 区 分 名 : 教 職 に 関 する 科 目 》

編入学or学士入学後の学籍番号: _____

児 童 学 科

育 児 支 援 専 攻

3 年

氏 名 _____

出 身 校 名 ・ 科 _____

学 科 長 印

教 職 セ ン タ ー 所 長 印

保育科 既修得科目 (見込含む)			東京家政大学の科目			認 定 ・ 指 導 内 容 (○で囲み、条件認定の場合は指導内容を記入してください)	担 当 者	備 考
科 目 名	単 位 数	成 績	科 目 名	単 位 数	科 目 コ ー ド			
教育原論	2		教育原論	2	KS5077 (共通認定)	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		
教育心理学	2		教育心理学	2	KS5078 (共通認定)	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		
教育実習 (幼)	(4)		教育実習 (幼)	(4)	KS5080	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		
教育実習事前事後指導 (幼)	(1)		教育実習事前事後指導 (幼)	(1)	KS5079	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		
教職・保育実践演習	[2]		教職・保育実践演習	[2]	KS5081	認定 ・ 否 ・ 条件認定 ()		

既 修 得 科 目 認 定 申 請 書

《授業科目区分名： 共通教育科目 》

編入学or学士入学後の学籍番号： _____

初等教育学科 _____

3 年 氏名 _____

出身校・科 東京家政大学短期大学部 保育科

学科長印	グローバル教育センター所長印
担当者	備考

保育科 既修得科目 (見込む)		東京家政大学の科目			認定・指導内容 (○で囲み、条件認定の場合は指導内容を記入してください)	担当責任学科	担当者	備考
科目名	単位数	科目名	単位数	科目コード				
英語コミュニケーションⅠ	[1]	英語ⅠA	[1]	KK0179	認定・否・条件認定 ()	グローバル教育センター		
英語コミュニケーションⅡ	[1]	英語ⅠB	[1]	KK0180	認定・否・条件認定 ()	グローバル教育センター		

★太枠内に成績を記入してください。現在履修中の科目は「*」、修得していない科目には「/」、履修登録をしているが授業に出席していない科目には、「×」を記入してください。

既 修 得 科 目 認 定 申 請 書

《 授 業 科 目 区 分 名 : _____ 共通教育科目 _____ 》

編入学or学士入学後の学籍番号: _____

等 教 育 学 科 _____

3 年 氏 名 _____

出身校・科 東京家政大学短期大学部 保育科

学科長印

共通教育推進室長印

保育科 既修得科目 (見込含む)		東京家政大学の科目			認 定 ・ 指 導 内 容 (○で囲み、条件認定の場合は指導内容を記入してください)	配当 責任学科	担 当 者	備 考
科 目 名	単 位 数	科 目 名	単 位 数	科目コード				
自校・初年度教育科目	2	スタートアップセミナー自主自律	2	KK0116	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室		
キャリアデザイン	1							
日本国憲法	2	日本国憲法	2	KK0133	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室		
生活経営学	2	生活経営学	2	KK0126	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室		
生命科学	2	生命科学入門	2	KK0136	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室		
ジェンダー論	2	ジェンダー論に学ぶ	2	KK0124	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室		
家政学原論	2	家政学原論	2	KK0125	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室		
子どものうた	2							
化学	2							
パソコン基礎	[2]	情報活用	[2]	KK0200	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室		
からだとスポーツ	(1)	からだとスポーツA	(1)	KK0202	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室		
体育と健康	1	体育と健康	1	KK0201	認定・否・条件認定 ()	共通教育推進室		

★太枠内に成績を記入してください。現在履修中の科目は「*」、修得していない科目には「/」、履修登録をしているが授業に出席していない科目には、「×」を記入してください。

R5 初等教育学科(専門) 既修得科目認定申請書 (学科確認用)

学科長印

「既修得科目(見込含む)」欄に記載されている短大の科目名・単位数に対し、認定する大学の科目名・単位数を、必要に応じて「東京家政大学の科目」欄に記入くださいますよう、お願い致します。

保育科 既修得科目 (見込含む)		東京家政大学の科目		備 考
科 目 名	単 位 数	科 目 名	単 位 数	
保育心理学	2	発達心理学	2	
子ども家庭福祉	2			
子どもの保健	2			
保育原理	2			
児童文化	1			
保育者論	1	教職基礎論	1	
保育者論(各論)	1			
教育・保育制度論	1			
保育の計画と評価	2			
カリキュラム論	2			
保育方法論(情報機器の操作を含む)	2	教育方法論	1	
特別支援教育概論	1	特別支援教育概論	1	
乳児保育Ⅰ	2			
乳児保育Ⅱ	[1]			
保育内容総論	[1]			
保育内容の理解と方法A(体育)	[1]			
保育内容の理解と方法B(音楽)	[1]			
保育内容の理解と方法C(造形)	[1]			
保育内容の理解と方法D(言葉)	[1]			
保育内容演習(健康)	[1]			※「保育内容演習(健康)」と「幼児と健康」の2単位を「幼児と健康」2単位として認定
保育内容演習(人間関係)	[1]			※「保育内容演習(人間関係)」と「幼児と人間関係」の2単位を「幼児と人間関係」2単位として認定
保育内容演習(環境)	[1]			※「保育内容演習(環境)」と「幼児と環境」の2単位を「幼児と環境」2単位として認定
保育内容演習(言葉)	[1]			※「保育内容演習(言葉)」と「幼児と言葉」の2単位を「幼児と言葉」2単位として認定
保育内容演習(表現)	[1]			
幼児と健康	[1]	幼児と健康	[2]	※「保育内容演習(健康)」と「幼児と健康」の2単位を「保育内容の指導法(健康)」2単位として認定
幼児と人間関係	[1]	幼児と人間関係	[2]	※「保育内容演習(人間関係)」と「幼児と人間関係」の2単位を「保育内容の指導法(人間関係)」2単位として認定
幼児と環境	[1]	幼児と環境	[2]	※「保育内容演習(環境)」と「幼児と環境」の2単位を「保育内容の指導法(環境)」2単位として認定
幼児と言葉	[1]	幼児と言葉	[2]	※「保育内容演習(言葉)」と「幼児と言葉」の2単位を「保育内容の指導法(ことば)」2単位として認定
幼児と表現	[2]	幼児と表現A	[2]	
子どもの歌と伴奏	(1)			

R5 初等教育学科(専門) 既修得科目認定申請書 (学科確認用)

学科長印

「既修得科目(見込含む)」欄に記載されている短大の科目名・単位数に対し、認定する大学の科目名・単位数を、必要に応じて「東京家政大学の科目」欄に記入くださいますよう、お願い致します。

保育科 既修得科目 (見込含む)		東京家政大学の科目		備 考
科 目 名	単 位 数	科 目 名	単 位 数	
音楽表現	[1]			
造形表現	[1]			
演劇表現	[1]			
保育総合表現	(2)			
保育実践実技A	(1)			
保育実践実技B	(1)			
保育実践実技C	(1)			
保育実践実技D	(1)			
保育キャリア支援演習	[1]			
子どもの健康と安全	[1]			
子どもの栄養	[2]			
障がい児保育演習	[2]			
子ども家庭支援論	2			
子ども理解と援助	[1]	幼児理解と教育相談	2	※「子ども理解と援助」「教育相談」の2単位を「幼児理解と教育相談」2単位として認定する
教育相談	1			※「子ども理解と援助」「教育相談」の2単位を「幼児理解と教育相談」2単位として認定する
子ども家庭支援の心理学	2			
子育て支援	[1]			
社会福祉	2			
社会的養護Ⅰ	2			
社会的養護Ⅱ	[1]			
保育実習指導Ⅰ	[2]			
保育実習Ⅰ	(4)			
保育実習指導Ⅱ	[1]			
保育実習Ⅱ	(2)			
保育実習指導Ⅲ	[1]			
保育実習Ⅲ	(2)			

R5 初等教育学科（教職） 既修得科目認定申請書（学科確認用）

「既修得科目（見込含む）」欄に記載されている短大の科目名・単位数に対し、認定する大学の科目名・単位数を、必要に応じて「東京家政大学の科目」欄に記入くださいますよう、お願い致します。

学科長印	教職センター長印

保育科 既修得科目（見込含む）		東京家政大学の科目		備考
科目名	単位数	科目名	単位数	
教育原論	2	教育原論	2	
教育心理学	2	教育心理学	2	
教育実習（幼）	(4)	教育実習（幼）	(2)	
教育実習事前事後指導（幼）	(1)	教育実習事前事後指導（幼）	(1)	
教職・保育実践演習	[2]			

【資料5-1】

3年次編入履修モデル(児童学科 児童学専攻)

区分	3年前期			3年後期			4年前期			4年後期						
	科目名	単位数	免許・資格 幼稚園教諭1種 + 図書館司書 + 幼免1種	科目名	単位数	免許・資格 幼稚園教諭1種 + 図書館司書 + 幼免1種	科目名	単位数	免許・資格 幼稚園教諭1種 + 図書館司書 + 幼免1種	科目名	単位数	免許・資格 幼稚園教諭1種 + 図書館司書 + 幼免1種				
専門 教育科目	学科・専攻基礎科目	児童学総論	2	○	○	児童学研究法	[1]	○	○	保育心理学	2	○	○			
		保育原理	2	○	○	子ども家庭福祉	2	○	○							
		児童文化	2	○	○											
		子ども理解研究	2	○	○											
	基礎科目	保育者論	2	○	○	教育・保育制度論	1	○	○							
	基礎選択科目					保育内容の理解と方法A(体育)	[1]	○	○	子どもの歌と伴奏 (1)	○	○	子どもの歌と伴奏 (1)	○	○	
						保育内容の理解と方法C(造形)	[1]	○	○	保育の楽器実技A (1)	(1)		保育の楽器実技C (1)	(1)	○	○
						保育内容の理解と方法D(言葉)	[1]	○	○	保育の楽器実技B (1)	(1)		保育の運動実技B [1]	○	○	
	保育理論科目	特別支援教育概論	1	○	○					保育の造形実技B [1]	[1]		保育(遊び)指導論 [1]	○	○	
	保育実践科目	保育内容「人間関係」の指導法	[1]	○	○	保育内容「健康」の指導法	[1]	○	○	保育のパソコン	[2]		音楽表現 [1]	○	○	
		保育内容「環境」の指導法	[1]	○	○	幼児と健康	[1]	○	○	保育キャリア支援演習	[1]					
		保育内容「言葉」の指導法	[1]	○	○					幼児と表現 [1]	○	○				
		幼児と人間関係	[1]	○	○					保育内容「表現」の指導法 [1]	[1]	○	○			
		幼児と環境	[1]	○	○											
	幼児と言葉	[1]	○	○												
	児童学研究科目				児童学特別演習A	[2]	○	○	児童学特別講義A	2						
	(児童学専攻)				児童学特別演習B	[2]	○	○	児童学特別講義B	2	○	○				
					児童学特別演習C	[2]	○	○	児童学特別講義C	2						
					児童学特別演習D	[2]	○	○	児童学特別講義D	2						
		総合研究科目	ゼミナール I	[1]	○	○	ゼミナール I	[1]	○	○	ゼミナール II [1]	○	○	ゼミナール II [1]	○	○
実習科目	自校附属実習 (0.5)	○	○	自校附属実習 (0.5)	○	○		卒業研究 [2]	○	○	卒業研究 [2]	○	○			
コア科目	基礎ゼミナール	2	○	○	キャリアデザイン	2	○	○								
共通 教育科目	人間教育科目★								コミュニケーション論 ※人間教育基礎科目	2	○					
									人間教育基礎科目	2	○					
									人間教育演習科目	2	○	○				
									人間教育演習科目	2						
教職課程科目																
英語文化・情報関連・体育関連科目								英語 II A [1]	○	○	英語 II B [1]	○	○			
図書館司書に関する科目	図書館概論	2	○	○	児童サービス論	2	○	○	情報サービス論	2	○	図書館情報技術論	2	○		
	生涯学習概論	2	○	○	図書館情報資源概論	2	○	○	情報サービス演習 (1)	○	○	情報サービス演習 (1)	○	○		
									情報資源組織論	2	○					
									情報資源組織演習 (1)	○	○	情報資源組織演習 (1)	○	○		
									図書館基礎特論	1	○					
								図書館制度・経営論	2	○						
								図書館サービス概論	2	○						
履修モデル別 単位合計		前期 20.5	24.5		後期 18.5	22.5		前期 15.0	26.0		後期 8.0	12.0				
単位合計					年間 39.0	47.0					年間 23.0	38.0				
★「人間教育科目」のうち「人間教育基礎科目」4単位以上、「人間教育演習科目」2単位以上選択必修											4年間合計単位数 (単位認定された62単位を含む)		124	147		

※ []は演習科目、()は実習及び実技を示す。○印は卒業、免許資格の取得に必要な修得例を示している。○印のないものは興味に応じて修得できるよう配置されている科目である。

※ 灰色網掛けの科目は通年科目、または年度をまたがっている科目である。各開講期に表記されている単位数の合計が、その科目に定められた単位数となる。

※ 名称が太字・右寄せの科目は、編入生以外では1, 2年次に配当されている卒業必修科目及び、幼稚園教諭1種免許取得のために必要な科目である。これらの科目は、当該科目の時間割上の配当や学生の希望により、履修年度が変更となる場合がある。

※ 図書館司書資格に関しては、各自の関心に応じて取得を判断する。

※ 編入生にはCAP制は適用されない。

3年次編入履修モデル(児童学科 育児支援専攻)

区分	3年前期				3年後期				4年前期				4年後期			
	科目名	単位数	免許・資格		科目名	単位数	免許・資格		科目名	単位数	免許・資格		科目名	単位数	免許・資格	
			幼稚園教諭1種	+ ベビーカー + 幼児1種			幼稚園教諭1種	+ ベビーカー + 幼児1種			幼稚園教諭1種	+ ベビーカー + 幼児1種			幼稚園教諭1種	+ ベビーカー + 幼児1種
専門教育科目	児童学総論	2	○	○	児童学研究法	[1]	○	○	保育心理学	2	○	○				
	保育原理	2	○	○	子ども家庭福祉	2	○	○								
	児童文化	2	○	○												
	子ども理解研究	2	○	○												
	基礎科目	保育者論	2	○	○	教育・保育制度論	1	○	○							
	基礎選択科目					保育内容の理解と方法A(体育)	[1]	○	○	子どもの歌と伴奏 (1)	○	○	子どもの歌と伴奏 (1)	○	○	
						保育内容の理解と方法C(造形)	[1]	○	○	保育の楽器実技A (1)	(1)		保育の楽器実技C (1)	(1)		
										保育の楽器実技B (1)	(1)		保育の運動実技B [1]	○	○	
	保育理論科目	特別支援教育概論	1	○	○					保育の造形実技B [1]	[1]		保育(遊び)指導論 [1]	○	○	
		在宅保育	2													
	保育実践科目	保育内容「人間関係」の指導法	[1]	○	○	保育内容「健康」の指導法	[1]	○	○	保育のパソコン	[2]		音楽表現 [1]	○	○	
		保育内容「環境」の指導法	[1]	○	○	幼児と健康	[1]	○	○	保育キャリア支援演習	[1]					
		保育内容「言葉」の指導法	[1]	○	○					幼児と表現 [1]	○	○				
		幼児と人間関係	[1]	○	○					保育内容「表現」の指導法 [1]	○	○				
	児童学研究科目 (育児支援専攻)	幼児と環境	[1]	○	○											
		幼児と言葉	[1]	○	○	育児支援特別演習A	[2]			育児支援特別講義A	2					
						育児支援特別演習B	[2]	○	○	育児支援特別講義B	2	○	○			
						育児支援特別演習C	[2]	○	○	育児支援特別講義C	2					
						育児支援特別演習D	[2]	○	○	育児支援特別講義D	2					
	総合研究科目	ゼミナール I	[1]	○	○	ゼミナール I	[1]	○	○	ゼミナール II	[1]	○	○	ゼミナール II	[1]	○
実習科目	学内育児支援施設実習 (0.5)	○	○		学内育児支援施設実習 (0.5)	○	○		卒業研究	[2]	○	○	卒業研究	[2]	○	○
									育児支援実習 (0.5)	○	○		育児支援実習 (0.5)	○	○	
共通教育科目	コア科目	基礎ゼミナール	2	○	○	キャリアデザイン	2	○	○							
	人間教育科目★									人間教育基礎科目	2	○	○			
										人間教育基礎科目	2					
										人間教育演習科目	2	○	○			
										人間教育演習科目	2					
教職課程科目																
									英語IIA [1]	○	○	英語IIB [1]	○	○		
履修モデル別 単位数合計		前期 20.5	22.5		後期 17.5	17.5		前期 15.5	15.5			後期 8.5	8.5			
					年間 38.0	40.0						年間 24.0	24.0			
★「人間教育科目」のうち「人間教育基礎科目」4単位以上、「人間教育演習科目」2単位以上選択必修													4年間合計単位数 (単位認定された62単位を含む)		124	126

- ※ [] は演習科目、() は実習及び実技を示す。○印は卒業、免許資格の取得に必要な修得例を示している。○印のないものは興味に応じて修得できるよう配置されている科目である。
- ※ 灰色網掛けの科目は通年科目、または年度をまたがっている科目である。各開講期に表記されている単位数の合計が、その科目に定められた単位数となる。
- ※ 名称が太字・右寄せの科目は、編入生以外では1、2年次に配当されている卒業必修科目及び、幼稚園教諭1種免許取得のために必要な科目である。これらの科目は、当該科目の時間割上の配当や学生の希望により、履修年度が変更となる場合がある。
- ※ 認定ベビーカー資格に関しては、各自の関心に応じて取得を判断する。
- ※ 編入生にはCAP制は適用されない。

【資料5-2】

3年次編入履修モデル(初等教育学科)

区分	3年前期				3年後期				4年前期				4年後期			
	科目名	単位数	免許・資格		科目名	単位数	免許・資格		科目名	単位数	免許・資格		科目名	単位数	免許・資格	
			小免のみ(基本モデル)	小免・幼免			小免のみ(基本モデル)	小免・幼免			小免のみ(基本モデル)	小免・幼免			小免のみ(基本モデル)	小免・幼免
教育の基礎	専門ゼミナールⅠ	[2]	○	○	専門ゼミナールⅡ	[2]	○	○	卒業論文	2	○	○	卒業論文	2	○	○
	特別支援教育研究	2			学級経営論	1			教育課程論	2	○	○	教職実践演習(幼・小)	[2]	○	○
	インターンシップ	(2)			総合的な学習の時間の指導法	1	○	○	レクリエーション実践演習	[2]		○	生徒・進路指導論	2	○	○
					インターンシップ	(2)							特別活動の指導法	1	○	○
					授業実践演習Ⅰ	[2]	○	○					教育相談の理論と方法	2	○	○
													障がいと教育	2	○	
													教育におけるICT活用	1	○	○
													授業実践演習Ⅱ	[2]	○	○
専門教育科目	社会科教育内容	2	○	○	社会科教育法	2	○	○	国語科教育演習	[2]	○		社会科教育演習	[2]		
	算数科教育内容	2	○	○	算数科教育法	2	○	○	英語科教育演習	[2]			算数科教育演習	[2]		
	理科教育内容	2	○	○	理科教育法	2	○	○	教育実習(小)	(2)	○	○	理科教育演習	[2]		
	生活科教育内容	2	○	○	生活科教育法	2	○	○	道德教育の理論	1	○	○	教育実習(小)	(2)	○	○
	英語科教育内容	2	○	○	英語科指導法	2	○	○	音楽基礎Ⅰ	[2]	○	○	家庭科教育内容	1	○	○
	造形基礎Ⅰ	[2]	○	○	教育実習事前事後指導(小)	(1)	○	○					子どもの思考とプログラミング	1	○	○
	体育基礎実技Ⅰ	(1)	○	○	国語科教育内容	2	○	○					音楽基礎Ⅱ	[2]	○	○
	音楽科教育法	2	○	○	造形基礎Ⅱ	[2]	○	○								
	図工科教育法	2	○	○	体育基礎実技Ⅱ	(1)	○	○								
					国語科教育法	2	○	○								
				家庭科教育法	2	○	○									
				体育科教育法	2	○	○									
				道德教育法	1	○	○									
保育の実践的指導(幼)	保育内容の指導法(表現A)	[2]		○	保育内容の指導法(表現B)	[2]		○	保育内容の指導法(健康)	[2]		○	保育内容の指導法(環境)	[2]		○
									保育内容の指導法(人間関係)	[2]		○	保育内容の指導法(言葉)	[2]		○
資格関連科目													幼児と表現B	[2]		○
													保育指導論	2		○
									学校経営と学校図書館	2			学校図書館メディアの構成	2		
									読書と豊かな人間性	2			学習指導と学校図書館	2		
													情報メディアの活用	2		
共通教育科目	コア科目	基礎ゼミナール	2	○	○				キャリアデザイン	2	○	○				
	人間教育科目★								人間教育基礎科目	2	○	○	人間教育基礎科目	2		
									人間教育基礎科目	2			人間教育基礎科目	2		
									人間教育演習科目	2	○		人間教育演習科目	2	○	
教職課程科目	教育制度論	2	○	○				人間教育演習科目	2			人間教育演習科目	2			
言語文化・情報関連・体育関連科目	英語上級A	[1]			英語上級B	[1]		英語ⅡA	[1]	○	○	英語ⅡB	[1]	○	○	
履修モデル別単位合計	前期	23	27	後期	28	30	前期	16	22	後期	23	27	年間	39	49	
★「人間教育科目」のうち「人間教育基礎科目」4単位以上、「人間教育演習科目」2単位以上選択必修												2年間合計単位数(単位認定34単位を含む)		124	140	

- ※ ○印は卒業、免許資格の取得に必要な修得例を示している。
- ※ []は演習科目、()は実習及び実技を示す。
- ※ 灰色網掛け+斜体文字の科目は通年科目である。各開講期に表記されている単位数の合計が、その科目に定められた単位数となる。
- ※ 淡灰色網掛けは、編入生以外では1、2年次に配当されている卒業必修科目及び、小学校教諭1種免許および幼稚園教諭1種免許取得のために必要な科目である。これらの科目は、当該科目の時間割上の配当や学生の希望により、履修年度が変更となる場合がある。
- ※ 濃灰色網掛けは、編入生以外では本来3年次に配当されている卒業必修科目であるが、学びの順序を考え4年次の履修としている。これらの科目は、当該科目の時間割上の配当や学生の希望により、履修年度が変更となる場合がある。
- ※ 小学校教諭免許については、原則取得するよう必要科目を履修する。幼稚園教諭免許を希望する場合は両方の必要科目を履修する。キャンピンストラクター・学校図書館司書教諭に関しては、各自の関心に応じて取得を判断する。
- ※ 編入生にはCAP制は適用されない。

実習施設一覧【幼稚園教育実習】（児童学科、初等教育学科）

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数	
				児童	初等教育
1	千代田区立麴町幼稚園	102-0083	東京都千代田区麴町2-8	1名	
2	千代田区立いずみこども園	101-0024	東京都千代田区神田和泉町1	1名	
3	中央区立泰明幼稚園	104-0061	東京都中央区銀座5-1-13	1名	
4	中央区立明正幼稚園	104-0033	東京都中央区新川2-13-4	1名	
5	中央区立有馬幼稚園	103-0014	東京都中央区日本橋蛸殻町2-10-23	2名	
6	中央区立月島第二幼稚園	104-0054	東京都中央区勝どき1-12-2	2名	
7	港区立芝浦幼稚園	108-0023	東京都港区芝浦4-8-18	1名	
8	港区立中之町幼稚園	107-0052	東京都港区赤坂9-7-8	1名	
9	港区立赤羽幼稚園	108-0073	東京都港区三田1-4-52	1名	
10	新宿区立西戸山幼稚園	169-0073	東京都新宿区百人町4-7-1	1名	
11	新宿区立四谷子ども園	160-0004	東京都新宿区四谷2-6	2名	
12	新宿区立あいじつ子ども園	162-0834	東京都新宿区北町17	1名	
13	新宿区立西新宿子ども園	160-0023	東京都新宿区西新宿4-35-5	1名	
14	文京区立千駄木幼稚園	113-0022	東京都文京区千駄木5-43-3	3名	
15	文京区立第一幼稚園	113-0024	東京都文京区西片2-17-6	2名	
16	文京区立湯島幼稚園	113-0033	東京都文京区本郷3-10-18	1名	
17	台東区立田原幼稚園	111-0034	東京都台東区雷門1-5-17	1名	
18	台東区立台桜幼稚園	110-0001	東京都台東区谷中2-9-4	1名	
19	台東区立育英幼稚園	111-0053	東京都台東区浅草橋5-1-35	1名	
20	台東区立石浜橋場こども園	111-0023	東京都台東区橋場1-35-1	1名	
21	墨田区立曳舟幼稚園	131-0046	東京都墨田区京島1-28-2	1名	
22	墨田区立立花幼稚園	131-0043	東京都墨田区立花1-25-9	1名	
23	江東区立南陽幼稚園	135-0016	東京都江東区東陽2-1-14	3名	
24	江東区立豊洲幼稚園	135-0061	東京都江東区豊洲4-4-4	1名	
25	江東区立第三大島幼稚園	136-0072	東京都江東区大島7-39-2-101	1名	
26	江東区立なでしこ幼稚園	136-0073	東京都江東区北砂5-20-7-102	1名	
27	目黒区立げっこうはらこども園	152-0002	東京都目黒区目黒本町4-15-3	1名	
28	世田谷区立八幡山幼稚園	156-0056	東京都世田谷区八幡山1-27-25	2名	
29	中野区立かみさぎ幼稚園	165-0031	東京都中野区上鷲宮4-8-12	2名	
30	中野区立ひがしなかの幼稚園	164-0003	東京都中野区東中野5-8-21	2名	
31	杉並区立高井戸西子供園	168-0071	東京都杉並区高井戸西3-15-4	1名	
32	北区立うめのき幼稚園	115-0056	東京都北区西が丘2-21-15	2名	
33	北区立たきさん幼稚園	114-0023	東京都北区滝野川1-12-27	2名	
34	北区立さくらだこども園	114-0002	東京都北区王子5-2-6-103	1名	
35	荒川区立日暮里幼稚園	116-0014	東京都荒川区東日暮里6-49-21	1名	
36	練馬区立光が丘むらさき幼稚園	179-0072	東京都練馬区光が丘3-3-5-101	1名	
37	江戸川区立船堀幼稚園	134-0091	東京都江戸川区船堀6-11-39	1名	
38	彰栄幼稚園	112-0001	東京都文京区白山4-14-15	3名	
39	徳風幼稚園	111-0035	東京都台東区西浅草1-5-5	3名	2名
40	谷中幼稚園	110-0001	東京都台東区谷中3-17-1	2名	2名
41	神明幼稚園	135-0004	東京都江東区森下1-3-17	2名	1名
42	育英幼稚園	152-0004	東京都目黒区鷹番3-15-3	2名	
43	パール幼稚園	144-0031	東京都大田区東蒲田2-21-15	3名	2名
44	愛珠幼稚園	156-0052	東京都世田谷区経堂1-1-14	2名	2名

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数	
				児童	初等教育
45	鶯谷さくら幼稚園	150-0032	東京都渋谷区鶯谷町10-9	1名	1名
46	福田幼稚園	151-0066	東京都渋谷区西原1-14-17	1名	1名
47	やはた幼稚園	165-0034	東京都中野区大和町2-30-3	1名	1名
48	中瀬幼稚園	167-0022	東京都杉並区下井草4-20-3	1名	1名
49	淑徳幼稚園	174-0063	東京都板橋区前野町5-32-8	3名	2名
50	こうま幼稚園	175-0082	東京都板橋区高島平8-21-13	2名	1名
51	城山幼稚園	174-0056	東京都板橋区志村2-16-2	4名	2名
52	城山みどり幼稚園	174-0043	東京都板橋区坂下2-22-10	4名	2名
53	練馬白菊幼稚園	179-0076	東京都練馬区土支田3-12-23	2名	1名
54	のぞみ幼稚園	120-0013	東京都足立区弘道1-7-11	3名	1名
55	ルンビニー幼稚園	125-0052	東京都葛飾区柴又7-10-30	1名	1名
56	明昭第二幼稚園	124-0006	東京都葛飾区堀切1-26-15	2名	
57	認定こども園 まどか幼稚園	124-0023	東京都葛飾区東新小岩7-2-8	1名	1名
58	二ノ江幼稚園	134-0093	東京都江戸川区二之江町1379	3名	
59	セント・ベル幼稚園	193-0831	東京都八王子市並木町33-2	2名	2名
60	武蔵野幼稚園	192-0354	東京都八王子市松が谷24	2名	1名
61	なかの幼稚園	192-0041	東京都八王子市中野上町5-32-13	2名	2名
62	昭島幼稚園	196-0022	東京都昭島市中神町1232	2名	
63	認定こども園 玉川中央幼稚園	194-0041	東京都町田市玉川学園2-3-27	3名	2名
64	麻の実幼稚園	189-0011	東京都東村山市恩多町3-9-16	1名	
65	子鹿幼稚園	201-0002	東京都狛江市東野川3-17-1	1名	
66	清瀬ゆりかご幼稚園	204-0003	東京都清瀬市中里5-561	2名	2名
67	きよせ幼稚園	204-0013	東京都清瀬市上清戸2-5-43	2名	
68	谷戸幼稚園	188-0001	東京都西東京市谷戸町1-16-2	1名	
69	のはら幼稚園	331-0046	埼玉県さいたま市西区宮前町1080-1	2名	1名
70	せいか幼稚園	331-0048	埼玉県さいたま市西区清河寺1235-1	2名	2名
71	銀鈴幼稚園	331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町2-21-2	2名	1名
72	福寿幼稚園	337-0051	埼玉県さいたま市見沼区東大宮7-73-5	2名	
73	大和田幼稚園	337-0053	埼玉県さいたま市見沼区大和田町2-718-1	1名	1名
74	認定こども園 与野あいし幼稚園	338-0002	埼玉県さいたま市中央区下落合1030	2名	1名
75	浦和こぼと幼稚園	338-0826	埼玉県さいたま市桜区大久保領家103-1	2名	2名
76	さかわ幼稚園	338-0823	埼玉県さいたま市桜区栄和6-18-1	2名	
77	麗和幼稚園	330-0062	埼玉県さいたま市浦和区仲町2-10-19	1名	1名
78	浦和幼稚園	330-0062	埼玉県さいたま市浦和区仲町2-6-15	2名	
79	双恵幼稚園	330-0075	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷1-21-24	6名	2名
80	ひなぎく幼稚園	330-0061	埼玉県さいたま市浦和区常盤8-1-18	2名	
81	浦和のぞみ幼稚園	336-0017	埼玉県さいたま市南区南浦和3-45-5	1名	1名
82	浦和つくし幼稚園	336-0026	埼玉県さいたま市南区辻 4-8-7	2名	2名
83	はとり幼稚園	336-0042	埼玉県さいたま市南区大谷口1312	2名	1名
84	浦和明の星幼稚園	336-0926	埼玉県さいたま市緑区東浦和6-4-19	1名	1名
85	認定こども園 岩槻ひまわり幼稚園	339-0031	埼玉県さいたま市岩槻区飯塚233	2名	2名
86	桂愛幼稚園	339-0008	埼玉県さいたま市岩槻区表慈恩寺593-1	2名	
87	みつわ幼稚園	334-0012	埼玉県川口市八幡木1-16-11	2名	1名
88	松葉幼稚園	332-0004	埼玉県川口市領家2-14-11	2名	2名
89	やなぎ幼稚園	361-0033	埼玉県行田市渡柳563-3	2名	1名
90	秩父こども園	368-0021	埼玉県秩父市下宮地町17-6	1名	1名
91	所沢第一文化幼稚園	359-1127	埼玉県所沢市星の宮1-2-25	1名	1名
92	ひさみ幼稚園	355-0034	埼玉県東松山市柏崎337-4	1名	1名

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数	
				児童	初等教育
93	高坂幼稚園	355-0047	埼玉県東松山市高坂1019-7	3名	2名
94	第二百合幼稚園	344-0023	埼玉県春日部市大枝89番地	1名	1名
95	みやした幼稚園	362-0043	埼玉県上尾市西宮下1-68	2名	1名
96	上尾幼稚園	362-0035	埼玉県上尾市仲町2-1-14	2名	2名
97	認定こども園 あずま幼稚園	340-0032	埼玉県草加市遊馬町430	1名	1名
98	さなえ幼稚園	343-0826	埼玉県越谷市東町3-330	2名	
99	認定こども園 北越谷幼稚園	343-0026	埼玉県越谷市北越谷3-2-18	1名	1名
100	あさか台幼稚園	351-0005	埼玉県朝霞市根岸台7-2-6	2名	
101	認定こども園 こどもむら 栗橋さくら幼稚園	349-1121	埼玉県久喜市伊坂46	1名	1名
102	認定こども園 しらゆり	349-0125	埼玉県蓮田市御前橋1-5-5	1名	1名
103	幸手ひがし幼稚園	340-0112	埼玉県幸手市権現堂1450-2	2名	
104	たかはぎ幼稚園	350-1213	埼玉県日高市高萩2200	4名	2名
105	ニューライフ幼稚園	221-0065	神奈川県横浜市神奈川区白楽109-4	1名	
106	金港幼稚園	222-0022	神奈川県横浜市港北区篠原東1-12-2	1名	
107	日吉光幼稚園	223-0062	神奈川県横浜市港北区日吉本町1-7-14	2名	
108	みゆき幼稚園	212-0003	神奈川県川崎市幸区小向町19-2	2名	
109	こうりんじ幼稚園	215-0001	神奈川県川崎市麻生区細山3-2-1	1名	1名
110	新玉幼稚園	250-0011	神奈川県小田原市栄町4-6-5	1名	1名
111	でんえん幼稚園	242-0007	神奈川県大和市中央林間9-13-24	2名	2名
112	千葉幼稚園	262-0046	千葉県千葉市花見川区花見川1-29		1名
113	小中台幼稚園	263-0043	千葉県千葉市稲毛区小仲台8-20-1	2名	2名
114	みのり幼稚園	264-0025	千葉県千葉市若葉区都賀5-20-26	2名	
115	夏見台幼稚園	273-0866	千葉県船橋市夏見台2-16-1	1名	
116	すずらん幼稚園	274-0072	千葉県船橋市三山3-40-8	2名	1名
117	認定こども園 みくに学園	277-0852	千葉県柏市旭町1-6-14	2名	
118	認定こども園 みくになかよしこども園	277-0813	千葉県柏市大室3-15-2	1名	1名
119	認定こども園くるみこども園	277-0845	千葉県柏市豊四季台1-1-113	1名	1名
120	第二姉ヶ崎幼稚園	299-0124	千葉県市原市有秋台東1-3	3名	2名
121	南流山幼稚園	270-0164	千葉県流山市流山2526	2名	
122	黒川幼稚園	270-0144	千葉県流山市前ヶ崎字上175	3名	2名
123	鎌ヶ谷さくら幼稚園	273-0103	千葉県鎌ヶ谷市丸山2-11-1	2名	
124	みちる幼稚園	273-0112	千葉県鎌ヶ谷市東中沢3-5-1	5名	2名
125	聖華未来のこども園	278-0022	千葉県野田市山崎1778-1	1名	
126	明德やちまたこども園	289-1115	千葉県八街市八街ほ559-2	1名	1名
127	松ヶ峰幼稚園	320-0807	栃木県宇都宮市松が峰1-1-5	1名	1名
128	栃木幼稚園	328-0035	栃木県栃木市旭町22-5	2名	2名
129	富士見幼稚園	307-0001	茨城県結城市大字結城10584	3名	2名
130	認定こども園 白山幼稚園	302-0023	茨城県取手市白山2-9-7	1名	
131	つくば市立竹園西幼稚園	305-0032	茨城県つくば市竹園1-15-2	1名	1名
132	つくば市立竹園東幼稚園	305-0032	茨城県つくば市竹園3-12-1	1名	1名
133	東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園	173-8602	東京都板橋区加賀1-18-1	5名	5名
合計				233名	99名

実習施設一覧【小学校教育実習・介護等体験】（初等教育学科）

◆ 小学校教育実習

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数
1	足立区立寺地小学校	123-0873	東京都足立区扇一丁目7番1号	1名
2	足立区立弘道小学校	120-0014	東京都足立区西綾瀬四丁目7番27号	1名
3	足立区立西新井小学校	123-0845	東京都足立区西新井本町4-9-27	1名
4	足立区立六木小学校	121-0052	東京都足立区六木3-21-11	1名
5	足立区立宮城小学校	120-0047	東京都足立区立宮城1-27-25	1名
6	荒川区立尾久第六小学校	116-0011	東京都荒川区西尾久8-26-9	1名
7	荒川区立尾久西小学校	116-0011	東京都荒川区西尾久5丁目27-12	1名
8	荒川区立尾久宮前小学校	116-0011	東京都荒川区西尾久一丁目4番17号	1名
9	荒川区立第一日暮里小学校	116-0013	東京都荒川区西日暮里3-7-15	1名
10	荒川区立第三峡田小学校	116-0002	東京都荒川区荒川一丁目43番1号	1名
11	板橋区立大谷口小学校	173-0031	東京都板橋区大谷口北町21-1	1名
12	板橋区立板橋第四小学校	173-0004	東京都板橋区板橋4-9-13	1名
13	板橋区立成増ヶ丘小学校	175-0094	東京都板橋区成増3-17-7	1名
14	板橋区立三園小学校	175-0091	東京都板橋区三園1-24-1	1名
15	板橋区立上板橋小学校	174-0073	東京都板橋区東山町47-3	1名
16	板橋区立赤塚小学校	175-0092	東京都板橋区赤塚3-1-22	1名
17	江戸川区立南篠崎小学校	133-0065	東京都江戸川区南篠崎町4丁目27番5号	1名
18	江戸川区立新田小学校	134-0088	東京都江戸川区西葛西8丁目16-1	1名
19	大田区立仲六郷小学校	144-0055	東京都大田区仲六郷一丁目26番1号	1名
20	大田区立高畑小学校	144-0056	東京都大田区西六郷三丁目28番23号	1名
21	大田区立入新井第五小学校	143-0016	東京都大田区大森北6丁目4-8	1名
22	大田区立道塚小学校	144-0054	東京都大田区新蒲田三丁目3番18号	1名
23	葛飾区立住吉小学校	125-0054	東京都葛飾区高砂8丁目14-1	1名
24	葛飾区立清和小学校	124-0012	東京都葛飾区立石6-2-1	1名
25	葛飾区立金町小学校	125-0042	東京都葛飾区金町3丁目44番1号	1名
26	葛飾区立白鳥小学校	125-0063	東京都葛飾区白鳥3-4-1	1名
27	北区立荒川小学校	114-0032	東京都北区中十条3-1-6	1名
28	北区立王子第五小学校	114-0034	東京都北区上十条2-18-17	1名
29	北区立神谷小学校	115-0043	東京都北区神谷2-30-5	1名
30	北区立西が丘小学校	114-0031	東京都北区十条仲原4-5-17	1名
31	北区立なでしこ小学校	115-0042	東京都北区志茂1-34-17	1名
32	北区立滝野川第三小学校	114-0023	東京都北区滝野川1-12-27	1名
33	北区立滝野川もみじ小学校	114-0023	東京都北区滝野川3-72-1	1名
34	北区立田端小学校	114-0014	東京都北区田端5丁目	1名
35	北区立東十条小学校	114-0001	東京都北区東十条3-14-23	1名
36	江東区立扇橋小学校	135-0014	東京都江東区石島18-5	1名
37	江東区立第一亀戸小学校	136-0071	東京都江東区亀戸2-5-7	1名
38	江東区立第三大島小学校	136-0072	東京都江東区大島9-5-3	1名
39	品川区立城南小学校	140-0004	東京都品川区南品川2丁目8番21号	1名
40	新宿区立富久小学校	162-0067	東京都新宿区富久町7-24	1名
41	新宿区立牛込仲之小学校	162-0064	東京都新宿区市谷仲之町4番33号	1名
42	新宿区立落合第一小学校	161-0032	東京都新宿区中落合2丁目13-27	1名
43	杉並区立高円寺学園高円寺小学校	166-0002	東京都杉並区高円寺北1丁目4番11号	1名
44	杉並区立天沼小学校	167-0032	東京都杉並区天沼2丁目46-3	1名

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数
45	杉並区立八成小学校	167-0021	東京都杉並区井草2-25-4	1名
46	墨田区立第二寺島小学校	131-0032	東京都墨田区東向島4-30-2	1名
47	渋谷区立幡代小学校	151-0061	東京都渋谷区初台1丁目32番12号	1名
48	世田谷区立三宿小学校	154-0054	東京都世田谷区立三宿1丁目12-6	1名
49	豊島区立池袋本町小学校	170-0011	東京都豊島区池袋本町1-43-1	1名
50	豊島区立駒込小学校	170-0003	東京都豊島区駒込3-13-1	1名
51	豊島区立池袋小学校	171-0014	東京都豊島区池袋4-23-8	1名
52	中野区立鷺宮小学校	165-0032	東京都中野区鷺宮3-31-4	1名
53	中野区立美鳩小学校	165-0034	東京都中野区大和町四丁目26番5号	1名
54	練馬区立仲町小学校	179-0084	東京都練馬区氷川台2-18-24	1名
55	練馬区立上石神井北小学校	177-0045	東京都練馬区石神井台5丁目1番32号	1名
56	練馬区立下石神井小学校	177-0042	東京都練馬区下石神井2-20-1	1名
57	練馬区立旭町小学校	179-0071	東京都練馬区旭町2丁目29番1号	1名
58	練馬区立大泉東小学校	178-0063	東京都練馬区東大泉1-22-1	1名
59	練馬区立大泉第一小学校	178-0062	東京都練馬区大泉町3丁目16-23	1名
60	練馬区立中村小学校	176-0024	東京都練馬区中村2丁目8-1	1名
61	練馬区立田柄第二小学校	179-0073	東京都練馬区田柄1丁目5-27	1名
62	練馬区立開進第四小学校	176-0003	東京都練馬区羽沢2丁目33-1	1名
63	練馬区立泉新小学校	177-0031	東京都練馬区三原台3丁目18-30	1名
64	練馬区立光和小学校	177-0041	東京都練馬区石神井町2丁目16-34	1名
65	練馬区立南が丘小学校	177-0035	東京都練馬区南田中2丁目13-1	1名
66	文京区立関口台町小学校	112-0014	東京都文京区関口2丁目6番1号	1名
67	文京区立誠之小学校	113-0024	東京都文京区西片2-14-6	1名
68	目黒区立菅刈小学校	153-0042	東京都目黒区青葉台3丁目3-26	1名
69	昭島市立光華小学校	196-0015	東京都昭島市昭和町4-5-13	1名
70	昭島市立共成小学校	196-0032	東京都昭島市郷地町2-6-1	1名
71	清瀬市立芝山小学校	204-0021	東京都清瀬市元町2丁目16-8	1名
72	清瀬市立清瀬第十小学校	204-0012	東京都清瀬市中清戸1-454-14	1名
73	狛江市立狛江第一小学校	201-0003	東京都狛江市和泉本町1丁目37-1	1名
74	立川市立西砂小学校	190-0034	東京都立川市西砂町2丁目34-2	1名
75	調布市立上ノ原小学校	182-0014	東京都調布市柴崎2-26-1	1名
76	調布市立富士見台小学校	182-0026	東京都調布市小島町3-20-1	1名
77	西東京市立谷戸第二小学校	188-0001	東京都西東京市谷戸町1丁目17-27	1名
78	西東京市立碧山小学校	202-0013	東京都西東京市中町5丁目11-4	1名
79	八王子市立恩方第一小学校	192-0154	東京都八王子市下恩方町1369	1名
80	八王子市立第七小学校	193-0931	東京都八王子市台町4-2-1	1名
81	東久留米市立第二小学校	203-0013	東京都東久留米市新川町1-14-6	2名
82	府中市立府中第二小学校	183-0006	東京都府中市緑町1-29	1名
83	福生市立福生第一小学校	197-0011	東京都福生市福生1055	1名
84	町田市立町田第二小学校	194-0013	東京都町田市原町田4-26-40	1名
			合計	85名

◆ 介護等体験

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数
1	東京都立王子特別支援学校	114-0033	東京都北区十条台1-8-41	85名
2	公益財団法人愛世会 介護老人保健施設シルバーピア加賀	173-0003	東京都板橋区加賀一丁目	85名

実習施設一覧【保育実習】（児童学科）

保育所

◆「保育実習Ⅰ」及び「保育実習Ⅱ」

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数
1	北区立保育所	114-8508	東京都北区王子本町 1-15-22	20名
2	板橋区立保育所	173-0004	東京都板橋区板橋 2-66-1	20名
3	さいたま市立保育所	330-9588	埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-4	20名
4	川口市立保育所	332-8601	埼玉県川口市青木 2-1-1	20名
5	千代田せいが保育園	101-0033	東京都千代田区神田岩本町 15-7	2名
6	キッズタウン東十条保育園	114-0001	東京都北区東十条 3-18-40	2名
7	王子隣保館保育園	114-0002	東京都北区王子 2-19-21	2名
8	桜田保育園	114-0002	東京都北区王子 5-2-1-101	2名
9	豊川保育園	114-0002	東京都北区王子 6-4-10	2名
10	ふくし保育園	114-0003	東京都北区豊島 2-20-5	2名
11	木の実保育園	114-0004	東京都北区堀船 3-23-6	2名
12	北区立滝野川西保育園	114-0023	東京都北区滝野川6-84-12	2名
13	聖母の騎士保育園	114-0032	東京都北区中十条1-28-13	2名
14	神谷保育園	115-0043	東京都北区神谷 2-36-8	2名
15	キッズタウンうきま保育園	115-0051	東京都北区浮間 5-13-1	2名
16	日の基保育園	115-0054	東京都北区桐ヶ丘 1-21-41	2名
17	尾久隣保館保育園	116-0001	東京都荒川区町屋 6-28-11	2名
18	東綾瀬きらきら保育園	120-0004	東京都足立区東綾瀬 2-17-8	2名
19	北綾瀬聖華保育園	120-0006	東京都足立区谷中 1-32-9	2名
20	光の園保育学校	130-0005	東京都墨田区東駒形 4-6-2	2名
21	興望館保育園	131-0046	東京都墨田区京島 1-11-6	2名
22	神愛保育園	135-0004	東京都江東区森下 3-10-7	2名
23	江東区亀戸第四保育園	136-0071	東京都江東区亀戸 4-21-13	2名
24	鳩ぽっぽ保育園	154-0004	東京都世田谷区太子堂 1-15-5	2名
25	もみの木保育園太子堂	154-0004	東京都世田谷区太子堂1-12-18	2名
26	烏山杉の子保育園	157-0062	東京都世田谷区南烏山 2-2-3	2名
27	中野みなみ保育園	164-0014	東京都中野区南台 5-29-9	2名
28	南台保育園	164-0014	東京都中野区南台3-35-3	2名
29	加賀保育園	173-0003	東京都板橋区加賀 2-3-2	2名
30	保育園 加賀のこども	173-0003	東京都板橋区加賀 1-9-11	2名
31	キッズタウンむかいほら保育園	173-0036	東京都板橋区向原 3-7-7	2名
32	前野保育園	174-0063	東京都板橋区前野町 4-6-7	2名
33	わかたけかなえ保育園	174-0071	東京都板橋区常盤台 3-12-15	2名
34	しらさぎ保育園	175-0094	東京都板橋区成増 5-19-40	2名
35	まちの保育園 小竹向原	176-0004	東京都練馬区小竹町 2-40-5	2名
36	マーガレット保育園	178-0061	東京都練馬区大泉学園町6丁目15-34	2名
37	そあ季の花保育園	178-0061	東京都練馬区大泉学園町 2-22-12	2名
38	大泉にじのいろ保育園	178-0062	東京都練馬区大泉町 6-30-3	2名
39	レイモンド調布保育園	182-0026	東京都調布市小島町 3-16-8	2名
40	市場保育園	230-0004	神奈川県横浜市鶴見区元宮 1-17-33	2名
41	鳩の森愛の詩瀬谷保育園	246-0021	神奈川県横浜市瀬谷区二ツ橋町 83-3	2名
42	杜ちゃいど園	247-0006	神奈川県横浜市栄区笠間1-2-2	2名
43	かさまの杜保育園	247-0006	神奈川県横浜市栄区笠間 3-11-8	2名

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数
44	まどか保育園	261-0004	千葉県千葉市美浜区高洲1-15-2	2名
45	あまねの杜保育園	273-0044	千葉県船橋市行田 2-9-10	2名
46	夏見台保育園	273-0866	千葉県船橋市夏見台 2-16-1	2名
47	浦和たいよう保育園	330-0063	埼玉県さいたま市浦和区高砂 2-1-12	2名
48	大成たいよう保育園	330-0852	埼玉県さいたま市大宮区大成町2-161-1	2名
49	とだ虹保育園	335-0015	埼玉県戸田市川岸3丁目9-22	2名
50	戸田こども園	335-0022	埼玉県戸田市上戸田 1-23-8	2名
51	あけぼの第2保育園	335-0031	埼玉県戸田市美女木2-7-4	2名
52	さいたまたいよう保育園	336-0017	埼玉県さいたま市南区南浦和 1-22-15	2名
53	東浦和たいよう保育園	336-0926	埼玉県さいたま市緑区東浦和4-14-1	2名
54	きらり遊愛保育園	336-0967	埼玉県さいたま市緑区美園 3-8-3	2名
55	やまぼと保育園	337-0026	埼玉県さいたま市見沼区染谷 2-203-1	2名
56	大宮みぬま保育園	337-0053	埼玉県さいたま市見沼区 大和田町 2-1633-1	2名
57	茶々すずや保育園	338-0013	埼玉県さいたま市中央区鈴谷 5-6-11	2名
58	よしかわエンゼル保育園	342-0044	埼玉県吉川市大字木売新田 423	2名
59	あぜがみりんご保育園	343-0836	埼玉県越谷市蒲生寿町 1-28	2名
60	一の割自然保育園	344-0031	埼玉県春日部市一ノ割 1138-1	2名
61	杉戸みちのこ保育園	345-0036	埼玉県北葛飾郡杉戸町大字杉戸 2677	2名
62	ピノ保育園白岡	349-0211	埼玉県白岡市野牛643	2名
63	しらおか虹保育園	349-0221	埼玉県白岡市上野田 1252-1	2名
64	レイモンド坂戸保育園	350-0256	埼玉県坂戸市善能寺43-15	2名
65	第二はちの巣保育園	350-2214	埼玉県鶴ヶ島市太田ヶ谷 609-7	2名
66	あさば保育園	350-0238	埼玉県坂戸市大字浅羽 1489	2名
67	太陽と大地のこども保育園	351-0007	埼玉県朝霞市岡 44-1	2名
68	あさかたんぼ保育園	351-0012	埼玉県朝霞市栄町 5-1-30	2名
69	あすの木保育園	351-0112	埼玉県和光市丸山台3-5-8	2名
70	茶々保育園	358-0026	埼玉県入間市大字小谷田字上ノ台 64	2名
71	東所沢保育園	359-0023	埼玉県所沢市東所沢和田 3-19-2	2名
72	こどもの園ブラムハウス	362-0043	埼玉県上尾市西宮下 1-16-1	2名
73	向山保育園	362-0045	埼玉県上尾市向山 4-3-21	2名
74	ふくろうの森保育園	369-0131	埼玉県鴻巣市袋 917-9	2名
			合計	220名

実習施設一覧【保育実習】（児童学科）

施設

◆「保育実習Ⅰ」

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数
1	浅草ほうらい	111-0022	東京都台東区清川 2-14-7	4名
2	リアン文京	112-0006	東京都文京区小日向 2-16-15	12名
3	東京都北区立児童発達支援センター	114-0002	東京都北区王子6-7-3	4名
4	北区立浮間ハイマート	115-0051	東京都北区浮間 3-1-26-101	2名
5	星美ホーム	115-0053	東京都北区赤羽台 4-2-14	4名
6	スマイルホームすみだ	131-0044	東京都墨田区文花 1-24-3	4名
7	わんぱく乳児院	133-0061	東京都江戸川区篠崎町 1-28-16	2名
8	はあとびあ原宿	150-0001	東京都渋谷区神宮前 3-18-37	4名
9	二葉乳児院	160-0012	東京都新宿区南元町 4	2名
10	シャロームみなみ風	162-0851	東京都新宿区弁天町 32-6	4名
11	聖オディリアホーム乳児院	165-0031	東京都中野区上鷲宮 5-28-28	2名
12	聖友学園	166-0001	東京都杉並区阿佐ヶ谷北 3-28-19	4名
13	聖友乳児院	166-0001	東京都杉並区阿佐谷北 3-28-19	4名
14	小百合の寮	167-0021	東京都杉並区井草 4-19-28	4名
15	つばみの寮	167-0021	東京都杉並区井草 4-19-28	4名
16	心身障害児総合医療療育センター むらさき愛育園	173-0037	東京都板橋区小茂根 1-1-10	4名
17	心身障害児総合医療療育センター 整肢療護園	173-0037	東京都板橋区小茂根 1-1-10	4名
18	マハヤナ学園撫子園	174-0063	東京都板橋区前野町 5-7-10	4名
19	東京都石神井学園	177-0045	東京都練馬区石神井台 3-35-23	4名
20	練馬福祉園	178-0061	東京都練馬区大泉学園町 9-4-1	4名
21	二葉むさしが丘学園	187-0011	東京都小平市鈴木町 1-62-1	4名
22	至誠大地の家	190-0022	東京都立川市錦町 6-26-17	2名
23	日の出太陽の家	190-0181	東京都西多摩郡日の出町大久野 5107	4名
24	日の出福祉園	190-0182	東京都西多摩郡日の出町平井 376	4名
25	手まり学園	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 3715	4名
26	鎌倉児童ホーム	248-0017	神奈川県鎌倉市佐助 1-6-6	4名
27	中心子どもの家	252-0244	神奈川県相模原市中央区田名 10125	4名
28	あしたば中野学園	265-0051	千葉県千葉市若葉区中野町 1574-31	4名
29	沼南育成園	277-0921	千葉県柏市大津ヶ丘 2-19-5	4名
30	東京都八街学園	289-1103	千葉県八街市八街に 151	2名
31	聖家族園	289-2513	千葉県旭市野中 792	4名
32	児童養護施設 びっき	299-0200	千葉県袖ヶ浦市戸国飛地 398-1	4名
33	東京都勝山学園	299-2115	千葉県安房郡鋸南町下佐久間 1469	4名
34	尚恵厚生園	300-0013	茨城県土浦市神立町 1791	4名
35	尚恵成人寮	300-0022	茨城県土浦市菅谷町 1430-1	4名
36	窓愛園	300-0055	茨城県土浦市殿里 20	4名
37	ダン・デ・らいおん	302-0118	茨城県守谷市立沢1001-1	2名
38	児童養護施設 きずな	320-0865	栃木県宇都宮市睦町 3-7	6名
39	皇海荘	321-1511	栃木県日光市足尾町 2084	4名
40	第二皇海荘	321-1511	栃木県日光市足尾町 2071-1	4名

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数
41	すみれ乳児院	323-0821	栃木県小山市三峯 2-1-21	2名
42	乳児院「夢」	327-0818	栃木県佐野市米山南町 8-2	3名
43	養徳園	329-1412	栃木県さくら市喜連川 1025	4名
44	ホザナ園	336-0918	埼玉県さいたま市緑区松木 1-16-20	4名
45	しびらき	338-0834	埼玉県さいたま市桜区新開 3-3-17	4名
46	そうか光生園	340-0001	埼玉県草加市柿木町 1215-1	4名
47	埼玉中央学園	347-0115	埼玉県加須市上種足 894-1	4名
48	ふれんど	348-0047	埼玉県羽生市大字下新郷 666	4名
49	乳児院つばみ	348-0047	羽生市下新郷 662-1	4名
50	神愛ホーム	350-0452	埼玉県入間郡毛呂山町大谷木 214-1	3名
51	乳児院さまりあ	350-1249	埼玉県日高市高麗川 1-5-28	2名
52	あさか向陽園	351-0016	埼玉県朝霞市青葉台 1-10-60	4名
53	みつばすみれ学園	353-0003	埼玉県志木市下宗岡 1-23-1	3名
54	むさしの青年寮	355-0008	埼玉県東松山市大谷 4730	4名
55	大樹館	358-0021	埼玉県入間市高倉 4-15-5	4名
56	江南	360-0107	埼玉県熊谷市千代 339-10	4名
57	おお里	360-0124	埼玉県熊谷市中恩田 289	4名
58	あげお	362-0011	埼玉県上尾市平塚 820	4名
59	りんごの家	363-0006	埼玉県桶川市大字倉田 513	4名
60	児童養護施設 さんあい	369-0212	埼玉県深谷市櫛挽 15-2	4名
61	上里学園	369-0314	埼玉県児玉郡上里町三町 183	4名
62	鐘の鳴る丘少年の家	371-0231	群馬県前橋市堀越町 880	3名
63	静岡恵明学園児童部	411-0012	静岡県三島市笹原新田 81-1	2名
64	嵐山郷	355-0201	埼玉県比企郡嵐山町古里 1848-1	2名
			合計	240名

実習施設一覧【保育実習】（児童学科）

施設

◆「保育実習Ⅲ」

No.	施設名	郵便番号	住所	受入人数
01	板橋区児童館	173-8501	東京都板橋区板橋 2-66-1	11名
02	北区児童館	114-8508	東京都北区王子本町 1-15-22	10名
2	リアン文京	112-0006	東京都文京区小日向 2-16-15	4名
7	わんぱく乳児院	133-0061	東京都江戸川区篠崎町 1-28-16	2名
9	二葉乳児院	160-0012	東京都新宿区南元町 4	2名
11	聖オデリアホーム乳児院	165-0031	東京都中野区上鷲宮 5-28-28	2名
32	児童養護施設 びっき	299-0200	千葉県袖ヶ浦市戸国飛地 398-1	2名
38	児童養護施設 きずな	320-0865	栃木県宇都宮市睦町 3-7	2名
41	すみれ乳児院	323-0821	栃木県小山市三峯 2-1-21	2名
42	乳児院「夢」	327-0818	栃木県佐野市米山南町 8-2	3名
合計				40名

* 太字No.：保育実習Ⅰ（施設）の実習施設承諾書番号（承諾書共通の為、「保育実習Ⅲ」としては添付せず）

【資料7】

【児童学科】2016～2021年度 インターンシップ参加人数一覧

5日間・35時間以上のインターンシップ

年度	企業名	所在地	参加人数
2021年度	実績なし		
2020年度	実績なし		
2019年度	春日部市役所	〒344-8577 埼玉県春日部市中央6-2	1
	KCJ GROUP株式会社	〒135-8614 東京都江東区豊洲2-4-9 アーバンドック	1
2018年度	株式会社ほっこり～のプラス	〒114-0031 東京都北区十条仲原1-22-5	1
	豊島区	〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1	1
	株式会社小学館集英社プロダクション アカデミー調布保育園	〒182-0024 東京都調布市布田4-25-8	1
	KCJ GROUP株式会社	〒135-8614 東京都江東区豊洲2-4-9 アーバンドック	1
2017年度	株式会社佐藤農園	〒405-0002 山梨県山梨市東818	2
	長野県	〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2	1
	北区	〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22	1
	株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド	〒108-0073 東京都港区三田1-4-1住友不動産麻布十番ビル10F	1
2016年度	株式会社シップス	〒135-0062 東京都江東区東雲1-1-10	1
	株式会社ほっこり～のプラス	〒114-0031 東京都北区十条仲原1-22-5	1
	スターツホテル開発株式会社 (ホテルエミオン東京ベイ)	〒279-0013 千葉県浦安市日の出1-1-1	1
合計人数			14

【児童教育学科】2016～2021年度 インターンシップ参加人数一覧

5日間・35時間以上のインターンシップ

年度	企業名	所在地	参加人数
2021年度	株式会社シッブス	〒104-0061 東京都中央区銀座1-20-15	1
	千葉市	〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1	1
2020年度	実績なし		
2019年度	北区 (U-KISS)	〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22	1
	内閣人事局 (女子学生霞が関インターンシップ)	〒100-8968 東京都千代田区永田町1-6-1	1
	一般社団法人くらしサポート・ウィズ	〒169-0072 東京都新宿区大久保2-3-4出光新宿ビル4階	1
	フューチャーサポート株式会社	〒130-0005 東京都墨田区東駒形4-24-3伊藤ビル2F	1
	株式会社エスクリ	〒105-0003 東京都港区西新橋2-14-1興和西新橋ビルB棟	1
	株式会社A H B	〒135-0042 東京都江東区木場三丁目7番11号	1
	株式会社日能研	〒222-8511 神奈川県横浜市 港北区新横浜2-13-12	1
2018年度	KCJ GROUP株式会社 キッザニア東京	〒135-8614 東京都江東区豊洲2-4-9 アーバンドック ららぽーと豊洲1 ノースポート3階	1
2017年度	北区 (U-KISS)	〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22	2
	KCJ GROUP株式会社 キッザニア東京	〒135-8614 東京都江東区豊洲2-4-9 アーバンドック ららぽーと豊洲1 ノースポート3階	1
	株式会社日本デイクエアセンター	〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-2-3 NSビル4階	1
	桶川市	〒363-8501 埼玉県桶川市泉1-3-28	1
	一般社団法人くらしサポート・ウィズ	〒100-8968 東京都千代田区永田町1-6-1	1
	株式会社パソナグループ	〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2	1
	スターツホテル開発株式会社	〒279-0013 千葉県浦安市日の出1-1-1 ホテル エミオン 東京ベイ	1
	株式会社文伸	〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17	1
	株式会社ほっこりーのプラス	〒114-0031 東京都北区十条仲原1-22-5	1
2016年度	さいたま市教育委員会	〒330-9588 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-4	1
	株式会社パソナグループ	〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2	1
	明治安田生命保険相互会社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目1-1 明治安田生命ビル	1
合計人数			23

※現「家政学部 児童教育学科」の実績。本改組により「児童学部 初等教育学科」に名称変更

令和4年度 東京家政大学 留学プログラム

No.	プログラム名	国	出発(期間) 予定	募集人数
1	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学語学研修	イギリス	令和4年8月上旬～8月下旬 (30日間)	1名～
2	マニトバ大学短期語学研修	カナダ	令和4年8月上旬～8月下旬 (30日間)	1名～
3	ワイカト大学語学研修	ニュージーランド	令和5年2月下旬～3月下旬 (30日間)	1名～
4	梨花国際夏季大学韓国学入門研修	韓国	令和4年8月上旬～中旬 (17日間)	1名～
5	淡江大学夏集中中国語プログラム研修	台湾	令和4年8月上旬～中旬 (21日間)	1名～
6	ワイマール・パウハウス大学ドイツ語研修	ドイツ	令和4年8月上旬～下旬 (30日間)	1名～
7	リヨンカトリック大学フランス語研修	フランス	令和4年8月上旬～下旬 (28日間)	1名～
8	ウェスタンシドニー大学語学・専門研修 (10ヶ月間)	オーストラリア	令和5年2月上旬～11月下旬 (約10ヶ月間)	2名
9	マニトバ大学語学・専門研修 (10ヶ月間)	カナダ	令和5年2月上旬～12月上旬 (10ヶ月間)	2名
10	エクセター大学語学・専門研修 (9ヶ月間)	イギリス	令和5年3月下旬～12月中旬 (9ヶ月間)	2名
11	マッセイ大学語学・専門研修 (9ヶ月間)	ニュージーランド	令和5年2月下旬～11月中旬 (9ヶ月間)	2名
12	モンタナ大学語学・専門研修 (10ヶ月間)	アメリカ	令和5年2月上旬～12月上旬 (10ヶ月間)	2名
13	サウスイーストミズーリ州立大学語学・専門研修 (10ヶ月間)	アメリカ	令和5年2月上旬～12月上旬 (10ヶ月間)	2名
14	マニトバ大学秋期語学研修 (6ヶ月間)	カナダ	令和4年9月上旬～令和4年3月上旬 (6ヶ月間)	5名
15	マニトバ大学春期語学研修 (6ヶ月間)	カナダ	令和5年3月上旬～8月下旬 (6ヶ月間)	5名
16	エクセター大学語学研修 (6ヶ月間)	イギリス	令和4年9月下旬～令和4年3月下旬 (6ヶ月間)	3名
17	ワイカト大学語学研修 (6ヶ月間)	ニュージーランド	令和4年8月上旬～令和4年1月下旬 (6ヶ月間)	3名
18	モンタナ大学語学研修 (6ヶ月間)	アメリカ	令和5年2月上旬～7月下旬 (6ヶ月間)	3名
19	サウスイーストミズーリ州立大学語学研修 (6ヶ月間)	アメリカ	令和4年9月上旬～令和4年3月上旬 (6ヶ月間)	3名
20	ダブリンシティ大学語学研修 (6ヶ月間)	アイルランド	令和4年9月上旬～令和4年3月上旬 (6ヶ月間)	3名
21	エジンバラ大学語学研修 (6ヶ月間)	イギリス	令和4年9月上旬～令和4年3月上旬 (6ヶ月間)	3名
22	ニューカッスル大学語学研修 (6ヶ月間)	イギリス	令和4年9月上旬～令和4年3月上旬 (6ヶ月間)	3名
23	オレゴン州立大学語学研修 (6ヶ月間)	アメリカ	令和4年9月上旬～令和4年3月上旬 (6ヶ月間)	3名
24	バンクーバーアイランド大学語学研修 (6ヶ月間)	カナダ	令和4年9月上旬～令和4年3月上旬 (6ヶ月間)	3名
25	アデレード大学語学研修 (6ヶ月間)	オーストラリア	令和4年9月上旬～令和4年3月上旬 (6ヶ月間)	3名
26	ウェスタンシドニー大学栄養&英語研修	オーストラリア	令和5年3月上旬～3月中旬 (15日間)	24名
27	エジンバラネイピア大学環境保全&英語研修	イギリス	令和4年8月下旬～9月上旬 (15日間)	16名
28	ハワイ大学環境保全&英語研修	ハワイ	令和5年2月下旬～3月上旬 (15日間)	20名
29	マッセイ大学幼児・初等教育&英語研修	ニュージーランド	令和5年2月下旬～3月上旬 (15日間)	24名
30	フランス服飾美術研修	フランス	令和5年2月中旬～2月下旬 (12日間)	20名
31	イタリア文化・美術研修	イタリア	令和5年3月上旬～3月中旬 (14日間)	20名
32	箱根グリーンセミナー (集中英語・異文化研修)	日本	令和4年8月上旬 (4日間)	16名
33	狭山グローバルセミナー (留学のための集中英語研修)	日本	令和4年4月上旬・8月上旬 (3日間)	20名
34	海外インターンシップ (職業体験・教職体験)	ニュージーランド他	夏期休業及び春期休業期間 (2～3週間)	各数名

児童学科 専攻別教員一覧

専攻	No.	職名	氏名	フリガナ
児童学専攻	1	教授	榎沢 良彦	エノサワ ヨシヒコ
	2	教授	是澤 優子	コレサワ ユウコ
	3	教授	笹井 邦彦	ササイ クニヒコ
	4	教授	戸田 雅美	トダ マサミ
	5	教授	平山 祐一郎	ヒラヤマ ユウイチロウ
	6	准教授	荒井 庸子	アライ ヨウコ
	7	准教授	梅谷 千代子	ウメタニ チヨコ
	8	准教授	堀 科	ホリ シナ
	9	准教授	松本 なるみ	マツモト ナルミ
	10	准教授	森田 浩章	モリタ ヒロアキ
	11	講師	前田 和代	マエダ カズヨ
	12	特任講師	高畑 祐子	タカハタ ユウコ
育児支援専攻	1	教授	岩崎 美智子	イワサキ ミチコ
	2	教授	金城 悟	キンジ ヨウ サトシ
	3	教授	高野 貴子	タカノ タカコ
	4	教授	花輪 充	ハナワ ミツル
	5	教授	細田 淳子	ホソダ ジュンコ
	6	教授	渡部 晃正	ワタナベ テルマサ
	7	准教授	柿沼 芳枝	カキヌマ ヨシエ
	8	准教授	佐藤 隆弘	サトウ タカヒロ
	9	准教授	武田 洋子	タケダ ヨウコ
	10	准教授	梁川 悦美	ヤナガリ エツミ
	11	講師	鈴木 彬子	スズキ アキコ
	12	特任講師	大西 明実	オオニシ アケミ

学校法人渡辺学園教職員定年規程

(平成元年4月1日)

最近改正 平成27年3月24日

(目的)

第1条 この規程は、学校法人渡辺学園就業規則第16条第4号及び学校法人渡辺学園東京家政大学かせい森のおうち職員就業規則第16条第4号の規定に基づき、大学、短期大学、高等学校、中学校、幼稚園及びナースリールームの教育職員並びに事務職員、技術職員、労務職員、校外施設の労務職員及び保育所職員（以下「教職員」という。）の定年に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(定年)

第2条 教職員の定年は、次の各号に定めるとおりとする。

- | | |
|------------------------------|-----|
| (1) 大学、短期大学の教育職員（教授、准教授及び講師） | 70歳 |
| (2) 大学、短期大学の助教及び助手 | 60歳 |
| (3) 高等学校、中学校の教育職員 | 65歳 |
| (4) 幼稚園、ナースリールームの教育職員 | 60歳 |
| (5) 事務職員、技術職員及び労務職員 | 65歳 |
| (6) 保育所職員 | 60歳 |

(定年退職の時期)

第3条 定年に達した教職員は、定年に達した日の属する年度末に退職するものとする。

(必要事項)

第4条 この規程の実施について、必要な事項が生じたときは、理事長がこれを定める。

(規程の改廃)

第5条 この規程の改廃は、理事会の議を経なければならない。

附則

この規程は、平成元年4月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成5年4月15日から施行し、平成5年4月1日から適用する。

附則

この改正規程は、平成19年4月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成22年4月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成22年9月28日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附則

この改正規程は、平成26年6月24日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附則

この改正規程は、平成27年3月24日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

特任教員に関する規程

(平成 16 年 4 月 1 日)

最近改正 令和 3 年 4 月 1 日

(目 的)

第 1 条 この規程は、学校法人渡辺学園（以下「学園」という。）の設置する大学および短期大学部が、学生への多様な教育に対応するため、「大学の教員等の任期に関する法律」（平成 9 年 6 月 13 日法律第 82 号）第 5 条第 1 項に基づき採用する特別任用の教育職員（以下「特任教員」という。）について、必要な事項を定めることを目的とする。

(定 義)

第 2 条 特任教員とは、学識経験または専門的、技術的経験が秀でて豊富な者で、専らその教育研究、業務等に専念従事することを目的として、有期雇用契約期間（以下「雇用期間」という。）を定めて雇用する者をいう。

(特任教員の種類等)

第 3 条 特任教員とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

- 一 社会的実務経験が豊富で実績が顕著であり、大学、大学院および短期大学部の教育または研究に特に必要として採用された者。
 - 二 国内外における大学等の研究・教育機関での経験が豊富で実績が顕著であり、大学、大学院および短期大学部の教育または研究に特に必要として採用された者。
 - 三 教育開発、教育プログラムの実践のために採用された者。
 - 四 その他学長が必要と認めた業務に従事するために採用された者。
- 2 特任教員は、雇用契約に基づき、特任教授、特任准教授、特任講師の名称を称するものとする。

(所 属)

第 4 条 特任教員は、次の各号に掲げる組織に所属する。

- 一 大学学部の学科
- 二 短期大学部の科
- 三 教職センター
- 四 グローバル教育センター

(職務・条件等)

第 5 条 特任教員の職務・条件は、次の各号のとおりとする。

- 一 授業を原則として 3 コマ以上担当し、所属の科内会議等の構成員となること。
- 二 教授会および研究科委員会の構成員とならないこと。
- 三 大学教員役職者の選考内規に規定する役職者（学長指名による役職者を除く。）の被選挙権を持たないこと。
- 四 クラス担任および各種委員会の委員を免除されること。

(雇用期間および更新)

第 6 条 特任教員の雇用期間は 3 年とする。ただし、特別に必要があるときは教授会の審議を経た後、学長および理事会の承認を得て、1 年任期で 2 回に限って更新することができる。

(採用選考の資格)

第 7 条 特任教員の選考は、特任教授の資格を原則とし、次の各号に掲げるすべての要件に該当する者とする。

- 一 「職員審査基準 I」第 2 条に規定する各号の一つに該当する者
- 二 採用時、年齢 57 歳以上の者
(選考時の提出書類等)

第 8 条 特任教員の採用選考を受ける者は、履歴書、研究実績書その他必要な書類を提出し、面接および教員審査委員会の審査を受けなければならない。

(採 用)

第 9 条 特任教員の採用は、教員審査委員会および教授会の議を経た後、学長の承認を得て理事会が採用を決定する。

(雇用契約書の締結)

第 10 条 前条の承認を得て採用される者は、別表に定める雇用契約書を学校法人渡辺学園（以下「学園」という。）と締結しなければならない。

(待 遇)

第 11 条 特任教員の身分は、専任教員の扱いとする。

- 2 特任教授には、経験年数を有する者の初任給調整要項第 2 条第 1 号、第 2 号および第 3 号に基づいて計算した基本給のほか調整手当、扶養手当、住宅手当および期末手当を調整して支給する。
- 3 研究費等については、大学および短期大学部が定める額を支給する。

(規程の適用等)

第 12 条 特任教授は、学園の「就業規則」および同「国内出張旅費規程」その他の学園の定める規程（「学校法人渡辺学園給与規程」を除く。）等を適用する。

(採用についての特例)

第 13 条 語学関係で外国人を採用する場合および教員採用委員会で特に必要と認められた場合は、第 4 条の規程のほか「教員審査基準 I」第 3 条および第 4 条に規定する各号の一つに該当する者のなかから年齢 57 歳未満の者を選考することができる。

- 2 前項の「教員審査基準 I」第 3 条の規定に該当する者は特任准教授とし、同第 4 条の規定に該当する者は特任講師として、第 3 条第 1 号から第 4 号の規定を準用する。
- 3 前項に規定する者の処遇については、第 11 条と同様に取扱うものとする。

(規定の改廃)

第 14 条 この規程を改廃する場合は、教授会の審議を経た後、学長および理事会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 特任教授、特任准教授及び特任講師の採用は、専任教員と同様の手続を経るものとする。
- 3 特任教授が期間を満了した時は、学校法人渡辺学園退職金規程別表②定年の欄を適用して退職金を支給する。

ただし、自己都合で退職する場合は、①自己都合の欄を適用して支給する。

4 第 8 条に規定する者についても、前項と同様に取扱う。

附 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行し、平成 21 年 4 月 2 日以降の採用者から適用する。

附 則

この規程は、平成 24 年 9 月 19 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

2 新しく学部あるいは学科を設置する際には、特に必要と認められた場合は、着任時に 70 歳以上である者を採用することができるものとする。ただし、その雇用期間は、当該学部あるいは学科の完成年度までとする。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

2 学部あるいは学科を設置する際に、学部長あるいは学科長に就任する者が定年に達し退職となる翌年度以降、理事会で特に必要と認められた場合は、その完成年度までの期間に限り、特任教授として採用し当該役職に就任することができるものとする。ただし、第 5 条第二号は適用しない。

児童学部 学術雑誌・電子ジャーナル一覧

令和4年3月末

冊子体雑誌(内国)

番号	雑誌名	出版社
1	教育	かもがわ出版
2	教育と医学	慶應義塾大学出版
3	切抜き速報, 教育版	ニホン・ミック
4	切抜き速報, 社会科版	ニホン・ミック
5	週刊教育資料	日本教育新聞社
6	先端教育	先端教育機構出版部
7	総合教育技術	小学館
8	日本教育新聞 縮刷版	日本教育新聞社
9	教育學研究	日本教育学会
10	教育フォーラム	金子書房
11	教育哲学研究	教育學術新聞社
12	異文化間教育	アカデミア出版
13	教育心理学研究	日本教育心理学会
14	教育心理学年報	日本教育心理学会
15	日本教育心理学会総会発表論文集	日本教育心理学会総会準備委員会
16	指導と評価	日本教育評価研究会
17	教育制度学研究	日本教育制度学会
18	教員養成セミナー	時事通信社
19	教職課程	協同出版
20	日本教師教育学会年報	日本教育新聞社
21	日本教育経営学会紀要	第一法規出版
22	教職研修	教育開発研究所
23	授業力&学級経営力	明治図書出版
24	教育技術小一・小二	小学館
25	視聴覚教育	日本視聴覚教育協会
26	月刊学校教育相談	ほんの森出版
27	生活教育	生活ジャーナル
28	月刊生徒指導	学事出版
29	社会科教育	明治図書
30	社会科教育研究	東洋館出版社
31	道徳教育	明治図書出版
32	環境教育	日本環境教育学会
33	理科の教育	東洋館出版社

番号	雑誌名	出版社
34	月刊家庭科研究	芽ばえ社
35	日本家庭科教育学会誌	日本家庭科教育学会
36	教育美術	教育美術振興會
37	子どもと美術	あゆみ出版
38	教育音楽. 小学版	音楽之友社
39	教育科学. 国語教育	明治図書出版
40	英語教育	大修館書店
41	新英語教育	三友社
42	日本児童英語教育学会研究紀要	日本児童英語教育学会
43	初等教育資料	東洋館出版社
44	中等教育資料	ぎょうせい
45	IDE/現代の高等教育	IDE 大学協会
46	大学教育学会誌	大学教育学会
47	大学教育と情報	私立大学情報教育協会
48	大學時報	日本私立大學連盟
49	大学・短期大学・専修学校のためのリクルートカレッジマネジメント	リクルート
50	ビトウィーン = Between	進研アド
51	月刊社会教育	国土社
52	社会教育	全日本社会教育連合会
53	日本生涯教育学会論集	日本生涯教育学会
54	日本生涯教育学会年報	日本生涯教育学会
55	月刊公民館	第一法規
56	切抜き速報. 保育と幼児教育版	ニホン・ミック
57	月刊クレーヨン	クレヨンハウス
58	子ども社会研究	日本子ども社会学会
59	児童研究	日本児童学会
60	ちいさい・おおきい・よわい・つよい	ジャパンマニスト
61	保育学研究	日本保育学会
62	日本保育学会大会発表要旨集	日本保育学会大会実行委員会
63	発達	ミネルヴァ書房
64	季刊保育問題研究	全国保育問題研究連絡協議会
65	新幼児と保育	小学館
66	保育の研究	草土文化
67	保育の友	全国社会福祉協議会
68	幼児の教育	フレーベル館
69	学ぶと教えるの現象学研究	宮城教育大学
70	保育ナビ	フレーベル館

番号	雑誌名	出版社
71	保育文化研究	日本保育文化学会
72	乳幼児教育学研究	日本乳幼児教育学会
73	子どものしあわせ	草土文化
74	ひよこクラブ	福武書店
75	月刊保育とカリキュラム	ひかりのくに
76	ほいくあっぷ	学研教育みらい
77	月刊ピアノ	ヤマハミュージックエンタテインメント ホールディングス出版部
78	音と動きの研究	日本オルフ音楽教育研究会
79	子どもの文化	日本児童文化研究所
80	人形玩具研究	日本人形玩具学会事務局
81	こどもとしょかん	東京子ども図書館
82	語りの世界	語り手たちの会
83	児童文学研究	日本児童文学学会
84	日本児童文学	日本児童文学者協会
85	こどものとも	福音館書店
86	こどものとも. 年中向き	福音館書店
87	月刊 MOE	白泉社
88	そだちの科学	日本評論社
89	特殊教育学研究	日本特殊教育学会
90	特別支援教育	東洋館出版社
91	特別支援教育研究	日本文化科学社
92	はげみ	日本肢体不自由児協会
93	発達障害研究	日本発達障害学会
94	療育	日本肢体不自由児協会
95	研究助成論文集/安田生命社会事業団	明治安田こころの健康財団
96	発達障害研究所年報/愛知県心身障害者コロニー	愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所
97	肢体不自由教育	日本肢体不自由児協会
98	児童養護	全国社会福祉協議会養護施設協議会
99	世界の児童と母性	資生堂社会福祉事業財団
100	子育て支援と心理臨床	福村出版

冊子体雑誌(外国)

番号	雑誌名	出版社
1	American journal of education	The Univ. of Chicago Press
2	Educational studies in Japan : international yearbook : ESJ	日本教育学会
3	Educational and psychological measurement	Sage
4	School psychology international	Sage

電子ジャーナル(外国)

番号	雑誌名	出版社
1	Child Development	Wiley-Blackwell
2	Child Development Perspectives	Wiley-Blackwell
3	Journal of Child Psychology and Psychiatry	Wiley-Blackwell
4	Monographs of the Society for Research in Child Development	Wiley-Blackwell
5	Childhood Education	Taylor & Francis
6	Journal of Research in Childhood Education	Taylor & Francis
7	Journal of Educational Research	Taylor & Francis
8	Educational Theory	Wiley-Blackwell
9	British Journal of Educational Psychology	Wiley-Blackwell
10	Journal of Biological Education	Taylor & Francis
11	English in Education	Taylor & Francis

教授会規程（大学）（案）

（昭和 50 年 9 月 25 日）

最近改正 令和 5 年 4 月 1 日

（目 的）

第 1 条 東京家政大学学則第 70 条に基づき、家政学部、栄養学部、児童学部、人文学部、健康科学部および子ども支援学部（以下、「各学部」という。）に置く教授会に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（構 成）

第 2 条 教授会は当該学部の学部長、専任教員（ただし、助教、期限付教授、期限付准教授、期限付講師、期限付助教、特任教授、特任准教授、特任講師は除く。）を教授会構成員（以下、「構成員」という。）

してこれを組織する。

（審議機関）

第 3 条 教授会は、当該学部の教育・研究に関する事項を審議する機関である。なお、審議された事項の意思決定は学長が行う。

（招集および議長）

第 4 条 学部長は、教授会を招集し、その議長となる。

2 議長は、教授会を主宰する。

3 議長となる学部長は、副議長を指名することができる。

4 学部長に事故あるときまたは欠けたときは、構成員である教授のうちからあらかじめ学部長が指名する者が議長の職務を代行する。

5 学部長は必要に応じて、学部合同で行う教授会を招集することができる。合同で行う場合、各学部の学部長が交代で議長と副議長を務めるものとする。

6 東京家政大学短期大学部教授会と協議・調整が必要な事項を審議する場合、学部長は合同で教授会を招集することができる。合同で行う場合の議長は、当該学部教授会の議長を務めるものとする。

（開 催）

第 5 条 教授会は、原則として毎月 1 回これを開く。

2 学部長が必要と認めるときは臨時にこれを開くことができる。

3 構成員の 3 分の 1 以上の要求がある場合はこれを開かなければならない。

4 教授会は、構成員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立する。ただし、内外の出張者（3 か月以上）、長期病欠者（3 か月以上）等は、構成員の定員数から除くものとする。

（議 決）

第 6 条 教授会の議決は、出席した構成員の過半数の同意を得なければならない。

2 特別の重要事項と認められたものに関しては、議決に先立って教授会の成立を確認し、議決の方法を定めなければならない。

3 議長は、採決に加わらない。可否同数の場合は議長の裁定による。

4 議長は、構成員に直接の利害関係のある事項については、当該構成員の退席を求めることができる。

5 教授会はその議決をもって、学長への意見とする。

(議案の決定)

第7条 教授会の議案は、第8条の定めにより学部長が決定し、招集の際、あらかじめ構成員に通知することを原則とする。

2 すべての構成員は議案を学部長に提出することができる。

3 緊急を要する事項の議案は会議に出席した構成員の過半数の同意を得て追加することができる。

(審議事項)

第8条 教授会は、学長が次の各号に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一 学生の入学、卒業および課程修了に関する事項

二 学位の授与に関する事項

三 学生の賞罰に関する事項

四 教育課程および授業科目の学年配当に関する事項

五 教員の教育研究業績の審査に関する事項

2 教授会は、学長および学部長（以下、「学長等」という。）がつかさどる次の各号に掲げる事項について審議し、学長等の求めに応じて、意見を述べることができる。

一 教育・研究およびその施設・設備の計画ならびに運営に関する事項

二 学生の退学、転学、留学および休学等に関する事項

三 学習の評価に関する事項

四 学生の学園生活に関する事項

五 学部に関わる学則および諸規程に関する事項

イ 制定と改廃に関する事項

ロ 適用に関する事項

六 学部長から諮問された事項

七 前各号以外の教育・研究に関する事項

(専門委員会)

第9条 学校教育法施行規則第143条第1項および同第2項の規定に基づき、教授会はその定めるところにより、専門委員会（以下、「委員会」という。）を置くことができる。

2 教授会は、必要に応じ各種の委員会に一定事項の調査、協議立案、実施などを委嘱することができる。

3 委員会で審議した事項等は必要に応じ教授会に答申、報告しなければならない。

4 委員会の委員は構成員のうちから選出し学長が委嘱する。

5 各委員会の規程は、別に定める。

(傍聴)

第10条 学部長は、議事の進行に支障のない範囲で、構成員以外の教職員の傍聴を認めることができる。

(守秘義務)

第11条 人事に関する事項および学生の個人情報に関する事項の審議内容については、秘密を漏らしてはならない。

(事務局)

第12条 教授会の事務は、家政学部、栄養学部、児童学部、人文学部にあつては教育支援センターが、健康科学部と子ども支援学部にあつては、狭山学務部において行う。

(議事録)

第13条 家政学部、栄養学部、児童学部、人文学部の教授会議事録は、教育支援センター所長または事務部長もしくは代理の者が、健康科学部と子ども支援学部の教授会議事録は、狭山学務部長または狭山学務部事務部長もしくは代理の者が作成し、議事進行の過程および決議事項を記録して、教授会の承認を受けるものとする。

2 議事録の承認は、各教授会の議長の他、審議に加わった各構成員の中から議長が指名する2名が署名・捺印する。学長は議事録を確認した後、署名・捺印する。

3 家政学部、栄養学部、児童学部、人文学部の教授会議事録は教育支援センターが、健康科学部と子ども支援学部の教授会議事録は、狭山学務部が保管する。

(規程の改正)

第14条 この規程を改正する場合は、教授会の審議を経た後、学長の承認を得なければならない。

附 則

1 教授会は、必要がある場合においては、教授会構成員以外の者もこれに参加させることができる。

2 この規程は、昭和50年9月25日から施行する。

附 則

この規程は、昭和54年11月28日から施行する。

附 則

1 議長となる学部長の選考規程は別に定める。

2 教授会は、必要がある場合においては、教授会構成員以外の者もこれに参加させることができる。

3 この規程は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成7年7月19日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

1 狭山キャンパスにあつては、新設学部完成年度までは原則学長が出席し、議長となる。

2 この改正された規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正された規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正された規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正された規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

基本規程

東京家政大学学則

全学運営会議規程

(令和元年5月29日)
最近改正 令和4年4月1日

(設置)

第1条 東京家政大学び東京家政大学短期大学部に全学運営会議を置く。

(目的)

第2条 全学運営会議は、全学にわたる教育・研究を遂行するための、全学的な方針の策定に関する事項について審議を行う。

(構成)

第3条 全学運営会議は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- 一 学長
- 二 短期大学部学長
- 三 副学長
- 四 学部長、研究科長
- 五 図書館長
- 六 教育支援センター、学生支援センター、アドミッションセンター、学修・教育開発センター、共通教育推進室、教職センター、ヒューマンライフ支援機構、狭山学務部の長

(審議事項)

第4条 全学運営会議は次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 教育・研究の全学的な方針の策定に関する事項
 - イ 教育・研究上の将来計画・ビジョン
 - ロ 教育・研究体制の改善・運営等
 - ハ 教育・研究に関する環境整備（研究費等含む）
- 二 教育課程の編成
- 三 教員人事の全学的な方針の策定に関する事項
 - イ 教員人事計画
 - ロ 学長指名役職者等
 - ハ その他必要と認められる事項
- 四 全学的な方針の策定に関する学則および諸規程の制定と改廃
- 五 その他、全学的な方針の策定に関する管理運営事項

(招集および議長)

第5条 学長は全学運営会議を招集し、その議長となる。

- 2 学長は代理の議長を指名することができる。
- 3 議長は必要に応じて第3条以外の教職員を全学運営会議に出席させることができる。

(開 催)

第6条 全学運営会議は原則として毎月1回これを開く。

2 学長が必要と認めたときは臨時にこれを開くことができる。

(議 決)

第7条 全学運営会議が議決を要するときは、構成員の3分の2以上の出席で、過半数の同意を得なければならない。

(議案の決定)

第8条 全学運営会議の議案は学長が定め、招集の際あらかじめ全学運営会議構成員に通知することを原則とする。

(特別委員会)

第9条 審議事項のうち集中的に検討する必要がある事項について、全学運営会議に、特別委員会（以下、「委員会」という。）を置くことができる。

2 全学運営会議は、委員会に、一定事項の調査、協議立案などを諮問する。

3 委員会で審議した事項は、全学運営会議に報告しなければならない。

4 委員会の委員長は、構成員のうちから学長が指名、委嘱する。

5 委員会の委員は、学長が指名、委嘱する。

(事 務)

第10条 全学運営会議及び委員会の事務は、教育支援センターにおいて行う。

(規程の改正)

第11条 この規程の改廃は、全学運営会議構成員の3分の2以上の同意を得て学長が決定する。

(補 足)

第12条 この規程に定めるもののほか、全学運営会議に関し、その他必要な事項は別に定める。

附 則

この規程は、令和元年5月29日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年11月27日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

協議会規程

(昭和61年4月1日)

最近改正 令和4年4月1日

(設置)

第1条 東京家政大学および東京家政大学短期大学部に協議会を置く。

(目的)

第2条 協議会は、全学にわたる教育・研究を遂行するための、全学的な施策等に関する事項について審議するとともに必要な連絡・調整を行う。

(構成)

第3条 協議会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- 一 学長
- 二 短期大学部学長
- 三 副学長
- 四 学部長、研究科長
- 五 科長
- 六 図書館長、図書館副館長
- 七 教育支援センター、学生支援センター、アドミッションセンター、学修・教育開発センター、共通教育推進室、教職センター、グローバル教育センター、ヒューマンライフ支援機構、狭山学務部の長
- 八 保健センター所長、狭山保健室長
- 九 事務部長

(審議事項)

第4条 協議会は次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 教育・研究の全学的な施策等に関する事項
 - 二 全学運営会議から委嘱された事項
 - 三 その他学長が本学の運営上必要と認める事項（全学運営会議の審議事項を除く。）
- 2 前項第2号の審議結果は、速やかに全学運営会議に報告するものとする。

(招集および議長)

第5条 学長は協議会を招集し、その議長となる。

- 2 学長は代理の議長を指名することができる。
- 3 議長は必要に応じて第3条以外の教職員を協議会に出席させることができる。

(開催)

第6条 協議会は原則として毎月1回これを開く。

- 2 学長が必要と認めたときは臨時にこれを開くことができる。

(議決)

第7条 協議会が議決を要するときは、構成員の3分の2以上の出席で、過半数の同意を得なければならない。

(議案の決定)

第8条 協議会の議案は学長が定め、招集の際あらかじめ協議会構成員に通知することを原則とする。

(事務)

第9条 協議会の事務は、教育支援センターにおいて行う。

(規程の改正)

第10条 この規程の改廃は、全学運営会議および協議会の議を経て、学長が決定する。

(補足)

第11条 この規程に定めるもののほか、協議会に関し、その他必要な事項は別に定める。

附則

- 1 協議会は、必要がある場合においては、協議会構成員以外の者もこれに参加させることができる。
- 2 この規程は、昭和61年4月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成3年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、平成6年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成6年7月20日から施行する。

附則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、平成9年4月23日から施行し、平成9年4月1日から適用する。

附則

この改正された規程は、平成12年7月24日から施行し、平成12年4月1日から適用する。

附則

この改正された規程は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、平成24年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、平成26年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、平成28年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、平成30年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、令和元年11月27日から施行する。

附則

この改正された規程は、令和3年4月1日から施行する。

附則

この改正された規程は、令和4年4月1日から施行する。

科長会規程（案）

（昭和 50 年 9 月 26 日）
最近改正 令和 5 年 4 月 1 日

（設 置）

第 1 条 本学の家政学部、栄養学部、児童学部、人文学部、健康科学部、子ども支援学部および短期大学部にそれぞれ科長会を置く。

（目 的）

第 2 条 科長会は当該学部の教育・研究を遂行するための連絡・調整を行い、教育・研究上の事務的処理に関する事項を検討する。

（構 成）

第 3 条 家政学部、栄養学部、児童学部、人文学部、短期大学部の科長会にあつては、学部長、人間生活学総合研究科長、科長、教育支援センター、アドミッションセンター、学生支援センター、グローバル教育センターの所長または、代理の者をもって構成する。健康科学部、子ども支援学部の科長会にあつては、学部長、科長、狭山学務部長、狭山学務部事務部長をもって構成する。

2 必要に応じて前項以外の教職員を出席させることができる。

3 必要に応じて学部合同の科長会を開くことができる。

（検討事項）

第 4 条 科長会は科内会議を経て、次の事項について総合的に検討し、必要がある場合においては、その結果を教授会または協議会にはかるものとする。

- 一 教育・研究上の将来計画、ビジョンに関する事項
- 二 教育・研究内容の改善・運営等の連絡および調整に関する事項
- 三 教育・研究に関する環境の整備ならびに研究費等に関する事項
- 四 教授会および協議会の議題原案の作成に関する事項
- 五 各科の人事に関する事項
- 六 教育・研究上の事務的処理に関する事項
- 七 教育・研究についての情報交換に関する事項
- 八 学長および学部長から諮問された事項
- 九 教授会および協議会から委嘱された事項
- 十 その他教育・研究上必要とする事項

（科長会の招集と議長）

第 5 条 科長会は学部長が招集し、その議長となる。

2 学部長は代理の議長を指名することができる。

3 学部合同の科長会における議長は、当該学部長が交代で務める。

（科長会の開催）

第 6 条 科長会は原則として毎月 1 回開く。ただし、必要がある場合は臨時に開くことができる。

（議事録の作成と保管）

第 7 条 科長会の議事録は、教育支援センター所長または事務部長および狭山学務部長または狭山学務部事務部長もしくは、代理の者が作成し、各科長会構成員の 2 名がこれに署名した後、各学部長がこれを保管する。

(規程の改正)

第8条 この規程を改正する場合は、教授会の審議を経た後、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、昭和50年9月26日から施行する。

附 則

この規程は、昭和54年11月28日から施行する。

附 則

この規程は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成5年12月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成6年7月20日から施行する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成9年4月23日から施行し、平成9年4月1日から適用する。

附 則

この改正された規程は、平成12年7月24日から施行し、平成12年4月1日から適用する。

附 則

この改正された規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

1 狭山キャンパスの合同科長会には、新設学部の完成年度まで原則学長が出席するものとし、必要に応じて保育園長、クリニック所長も出席できるものとする。

2 この改正された規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、令和5年4月1日から施行する。

科内会議規程

(昭和 51 年 4 月 1 日)

最近改正 平成 30 年 4 月 1 日

(設 置)

第 1 条 各学科 (科を含む。以下同じ。) に科内会議を置く。

(目 的)

第 2 条 科内会議は、各学科を中心とした教育と研究に関する事項を審議決定し、必要事項については、科長会および教授会にはかることを目的とする。

(科内会議の組織)

第 3 条 科内会議は、科内の専任教員をもって科内会議構成員 (以下、「構成員」という。) として、これを組織する。

2 会議の内容により、構成員以外の者もこれに参加させることができる。

3 議題により、科内会議であらかじめ定められた構成員によって会議を開催することができる。

(科内会議の運営)

第 4 条 科内会議は、科長が招集する。

2 科内会議は、構成員の 3 分の 1 以上の要求がある場合は、これを開かなければならない。

3 科内会議は、構成員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立する。

4 科内会議に議長を置く。議長は科内会議で選出するものとする。

5 科内会議は、原則として毎月 1 回開く。

(議題の通知)

第 5 条 科内会議の議題はあらかじめ構成員に通知することを原則とする。

(科内会議の記録と連絡)

第 6 条 科内会議の審議事項は記録する。

2 科内会議の決定事項は、構成員その他関係者に通知連絡する。

(規程の改正)

第 7 条 この規程を改正する場合は、教授会の審議を経た後、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、昭和 54 年 11 月 28 日から施行する。

附 則

この規程は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

東京家政大学・東京家政大学短期大学部自己評価委員会規程（案）

（平成4年12月1日）

最近改正 令和5年4月1日

（目 的）

第1条 次の各号に掲げる事項を目的として、東京家政大学・東京家政大学短期大学部自己評価委員会（以下「自己評価委員会」という。）を設置する。

- (1) 東京家政大学学則第1条の2、東京家政大学大学院学則第2条の2及び東京家政大学短期大学部学則第1条2の規定に基づき、学校教育法第109条に定めるところにより、東京家政大学及び東京家政大学短期大学部（以下「本学」という。）の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動及び管理運営等の状況について定期的に把握し、その結果をもとに改革・改善に努めること（以下、「自己点検・評価」という。）。
- (2) 本学の教育研究の質を保証し向上するため、前項で示す自己点検・評価を行い、その結果をもとに継続的な改善を推進すること（以下、「内部質保証」という。）。

（自己評価委員会の職務）

第2条 自己評価委員会は、次の各号に掲げる事項を審議のうえ、決定する。

- (1) 自己点検・評価に関する次の事項
 - イ 自己点検・評価の基本方針及び体制に係る事項
 - ロ 自己点検・評価の実施に係る事項
 - ハ 自己点検・評価の統括及び検証に係る事項
 - ニ 自己点検・評価に関わる報告書の作成及び公表に係る事項
 - ホ 学長の指示に基づく特定の事項に係る自己点検・評価の実施に関する事項
 - ヘ 外部評価及び認証評価に係る事項
- (2) 内部質保証に関する事項
 - イ 内部質保証の方針及び手続の策定に関する事項
 - ロ 内部質保証のための体制の確保に関する事項
 - ハ 内部質保証の仕組みの機能向上に関する事項
- (3) その他自己評価委員会の目的を達成するために必要な事項

（自己点検・評価の体制）

第3条 本学の自己点検・評価の実施体制を整えるため、自己評価委員会のもとに次の各号に掲げる部会（以下、「各部会」という。）を置く。

- (1) 基幹部会
- (2) 教育支援・グローバル推進部会
- (3) 教育研究・社会連携部会
- (4) 入学支援・入試制度部会
- (5) 学生支援部会
- (6) 大学運営・財務部会
- (7) 教員養成部会

2 本学の自己点検・評価を具体的に実施するため、各部会のもとに次の各号に掲げる自己評価実施委員会（以下、「各実施委員会」という。）を置く。

- (1) 家政学部自己評価実施委員会
- (2) 栄養学部自己評価実施委員会
- (3) 児童学部自己評価実施委員会
- (4) 人文学部自己評価実施委員会
- (5) 健康科学部自己評価実施委員会
- (6) 子ども支援学部自己評価実施委員会
- (7) 大学院自己評価実施委員会
- (8) 短期大学部自己評価実施委員会

3 自己点検・評価に関する外部検証を担保するため、学長のもとに外部評価委員会を置く。外部評価委員会については、別に定める。

(各部会等の役割)

第4条 各部会は、自己評価委員会における審議・決定に基づき、別表1に定める所管事項の自己点検・評価を実施する体制を整え、各実施委員会に自己点検・評価の実施を指示する。各実施委員会が実施した自己点検・評価の結果を集約して、自己評価委員会に報告する。

2 各実施委員会は、各部会から指示された点検・評価項目及び評価の視点に従って、それぞれの諸活動に係る自己点検・評価を実施し、改善すべき課題を明らかにする。点検・評価した結果をまとめ、各部会に提出する。

(自己評価委員会等の構成)

第5条 自己評価委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 副学長
- (2) 学部長、研究科長
- (3) 図書館長
- (4) 教育支援センター、学生支援センター、アドミッションセンター、学修・教育開発センター、共通教育推進室、教職センター、狭山学務部、ヒューマンライフ支援機構、総務部の長
- (5) その他学長が指名する者

2 各部会及び各実施委員会は、別表1及び別表2に定める委員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別表1に定めるものとし、次の各号に掲げる部会については、自己評価委員会委員長が副学長のうちから指名する。

- (1) 基幹部会
- (2) 教育支援・グローバル推進部会
- (3) 教育研究・社会連携部会
- (4) 入学支援・入試制度部会
- (5) 学生支援部会

4 各実施委員会の委員長は、別表2に定めるものとし、短期大学部自己評価実施委員会については、自己評価委員会委員長が科長のうちから指名する。

(委員長等)

第6条 自己評価委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は副学長のうちから学長が指名する。

3 自己評価委員会は委員長が招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長が指名する。

5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に支障あるときは、その職務を代行する。

6 委員長は、必要があると認めた場合、必要に応じて委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

(議 決)

第7条 自己評価委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは委員長の決するところによる。

(自己点検・評価結果の報告及び改善への取り組み)

第8条 自己評価委員会は、自己点検・評価の結果を学長に報告する。

2 学長は、自己点検・評価の結果について外部評価委員会及び学外の有識者等に意見を求めることができる。

3 学長は、前項の意見を求めた場合はその意見も含めて、自己点検・評価の結果を公表する。

4 学長は、自己点検・評価、外部評価、学校教育法に定める認証評価の受審及び結果を理事会に報告する。

5 学部、研究科、短期大学部その他の機関は、自己点検・評価をもとに、分野別の外部評価及び第三者評価を受けることができる。

(事務局)

第9条 自己評価委員会の事務局は、教育支援センター教育・研究支援課とする。

2 各部会及び各実施委員会の事務局は、別表1及び別表2に定める。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、自己評価委員会の審議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、平成4年12月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成6年6月22日から施行し、平成6年4月1日から適用する。

附 則

この改正された規程は、平成11年6月23日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

附 則

この改正された規程は、平成12年6月27日から施行し、平成12年4月1日から適用する。

附 則

この改正された規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この改正された規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成22年9月28日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この改正規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成26年4月1日から施行する

附 則

この改正規程は、平成28年4月26日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則

この改正規程は、令和元年5月28日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則

この改正規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この改正規程は、令和4年4月1日から施行する。

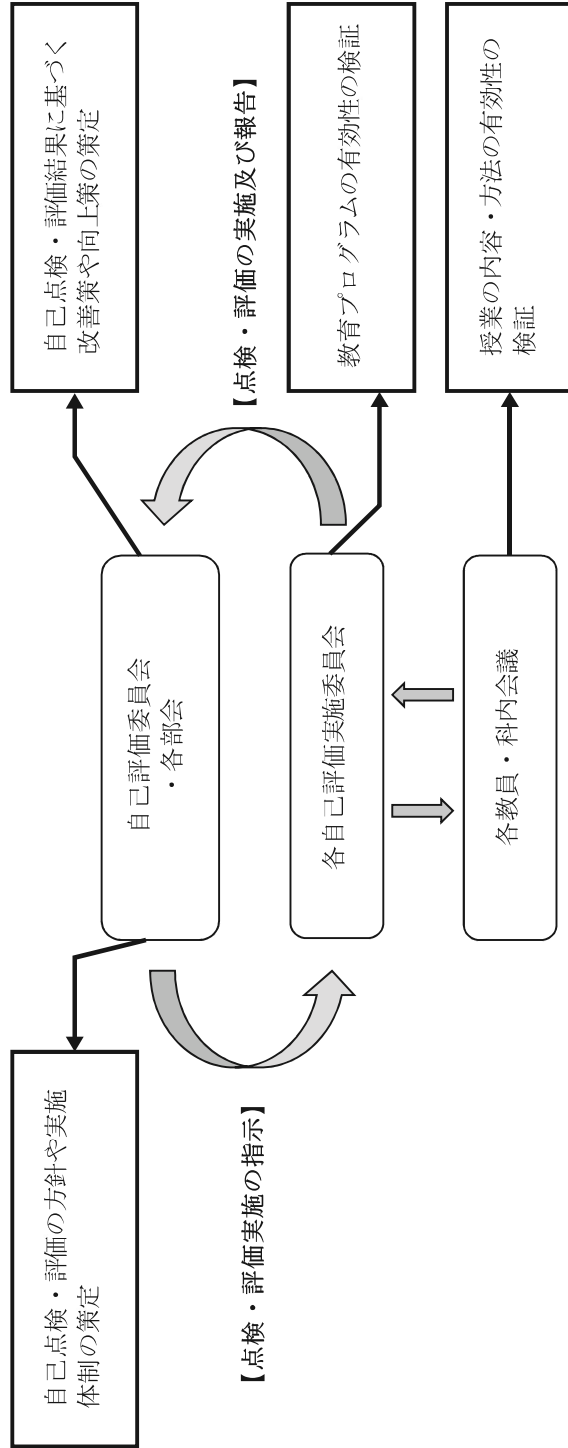
別表1（部会関係）

部会名	所管事項	部会長	委員	事務局
基幹部会	・大学の理念及び各組織の目的に関する事項 ・内部質保証に関する事項	副学長	副学長 学部長、研究科長 図書館長、 教育支援センター、学生支援センター、アドミッションセンター、学修・教育開発センター、共通教育推進室、教職センター、狭山学務部、ヒューマンライフ支援機構、総務部の長 学長が指名する者	教育支援センター教育・研究支援課
教育支援・グローバル推進部会	・教員及び教員組織に関する事項 ・教育内容、方法及び成果に関する事項 ・教育研究組織に関する事項	副学長	副学長 学部長、研究科長 図書館長、 教育支援センター、学生支援センター、アドミッションセンター、学修・教育開発センター、共通教育推進室、教職センター、狭山学務部、ヒューマンライフ支援機構、総務部の長 学長が指名する者	教育支援センター学修支援課
教育研究・社会連携部会	・教育研究環境に関する事項 ・社会連携及び社会貢献に関する事項	副学長	副学長 学部長、研究科長 図書館長、 教育支援センター、学生支援センター、アドミッションセンター、学修・教育開発センター、共通教育推進室、教職センター、狭山学務部、ヒューマンライフ支援機構、総務部の長 学長が指名する者	ヒューマンライフ支援機構
入学支援・入試制度部会	・学生の受入れに関する事項	副学長	副学長 学部長、研究科長 図書館長、 教育支援センター、学生支援センター、アドミッションセンター、学修・教育開発センター、共通教育推進室、教職センター、狭山学務部、ヒューマンライフ支援機構、総務部の長 学長が指名する者	アドミッションセンター

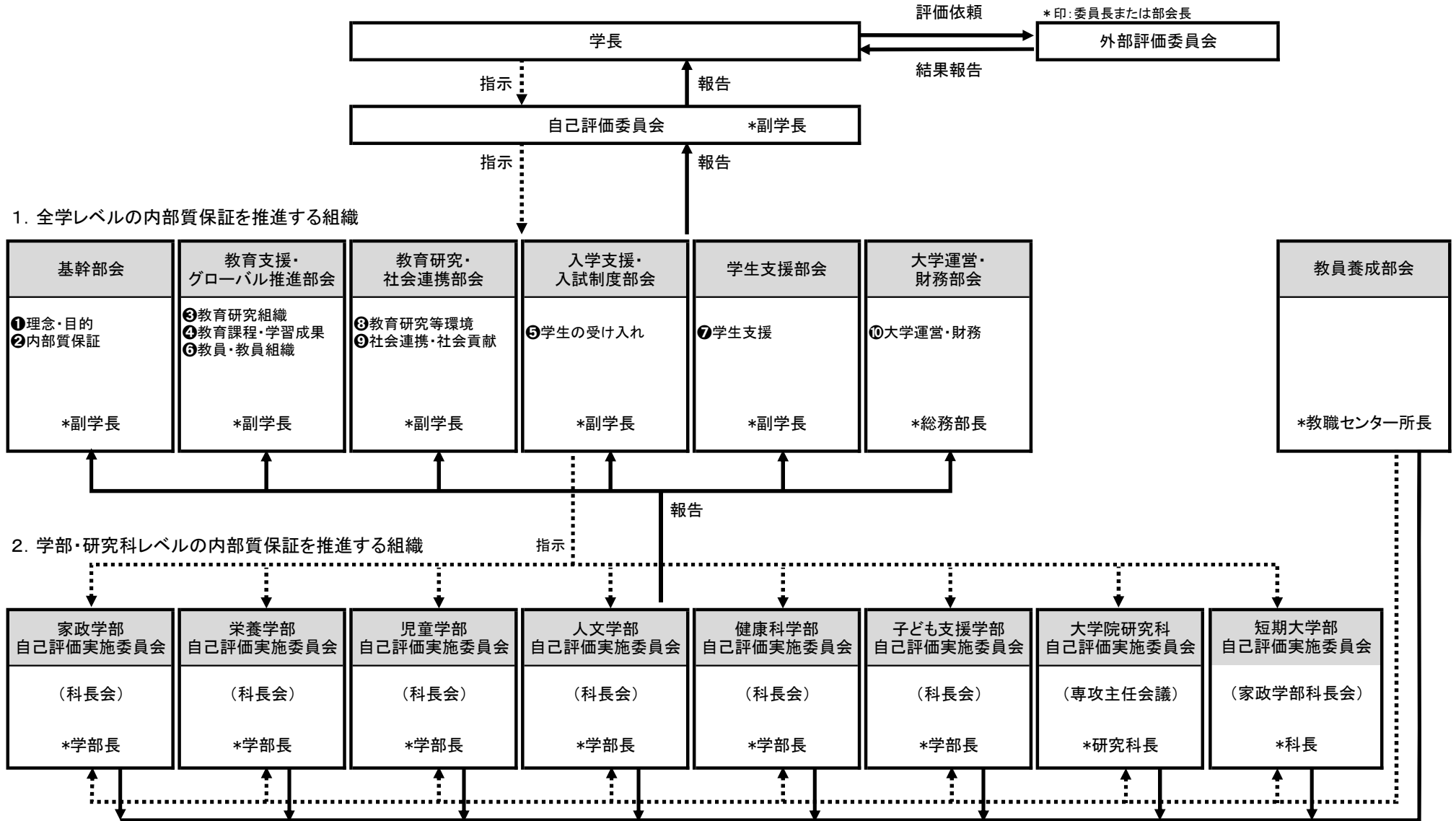
部会名	所管事項	部会長	委員	事務局
学生支援部会	・学生支援に関する事項	副学長	副学長 学部長、研究科長 図書館長、 教育支援センター、学生支援センター、アドミッションセンター、学修・教育開発センター、共通教育推進室、教職センター、狭山学務部、ヒューマンライフ支援機構、総務部の長 学長が指名する者	学生支援センター学生支援課
大学運営・財務部会	・管理運営及び財務に関する事項	総務部長	副学長 学部長、研究科長 図書館長、 教育支援センター、学生支援センター、アドミッションセンター、学修・教育開発センター、共通教育推進室、教職センター、狭山学務部、ヒューマンライフ支援機構、総務部の長 学長が指名する者	総務部総務課
教員養成部会	・教員養成に関する事項	教職センター長	教職センター長 教職センター運営委員会委員 学長が指名する者	教職センター

別表2 (実施委員会関係)

委員会名	委員長	委員	事務局
家政学部自己評価 実施委員会	家政学部長	家政学部長 服飾美術学科長、造形表現学科長、環境教育学科長 学部長が指名する者	教育支援センター教育・研究支援課
栄養学部自己評価 実施委員会	栄養学部長	栄養学部長 栄養学科長、管理栄養学科長 学部長が指名する者	教育支援センター学修支援課
児童学部自己評価 実施委員会	児童学部長	児童学部長 児童学科長、初等教育学科長 学部長が指名する者	教育支援センター学修支援課
人文学部自己評価 実施委員会	人文学部長	人文学部長 英語コミュニケーション学科長、心理カウンセリング学科長、教育福祉学科長 学部長が指名する者	教育支援センター学修支援課
健康科学部自己評価 実施委員会	健康科学部長	健康科学部長 看護学科長、リハビリテーション学科長 学部長が指名する者	狭山学務部学務課
子ども支援学部自己評価 実施委員会	子ども支援学部長	子ども支援学部長 子ども支援学科長 学部長が指名する者	狭山学務部学務課
大学院自己評価 実施委員会	人間生活学総合研究 科長	人間生活学総合研究科長 児童学児童教育学専攻主任、健康栄養学専攻主任、造形学専攻主任、英語・英語教育研究専攻主任、臨床心理学専攻主任、教育福祉学専攻主任、人間生活学専攻主任 研究科長が指名する者	大学院事務室
短期大学部自己評価 実施委員会	科長	保育科長、栄養科長、 ALO (Accreditation Liaison Officer : 認証評価連絡調整責任者) 科長が指名する者	教育支援センター教育・研究支援課



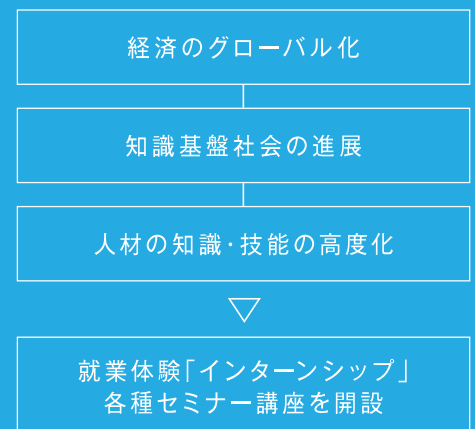
内部質保証組織関係図



自分を知り、社会を知り、 共感型リーダーシップを 身につける。

共通教育科目のコア科目においては、建学の精神「自主自律」、生活信条「愛情・勤勉・聡明」について考え、大学でどう学び・社会でどう活かすのかを学んでいきます。そして、それらの学びと平行して、より実践的に社会で楽しく生き抜いていくための人間力を身につけていくことが人間力育成実践科目の目的となります。

「キャリア形成支援講座」では、学生が自分の将来像と社会・職業の関係を学び、自らの志を持って進むべき道を決かなものにし、その為の資質・能力を備えることを目指します。この目的のために、実際に就業を体験する「インターンシップ」、その為の準備段階としての各種セミナー、一般常識等基礎能力を高める各種講座を開設しています。「実践力養成セミナー A・B」では、これからの社会において、とても重要となる共感型リーダーシップを身につけることで人間力の向上を計っていくことを目的としています。Aでは、レクリエーションをとおして、Bでは、合意形成を行っていく方法により養成していきます。



人間力育成 実践科目 ≫ ≫ ≫ キャリア形成支援講座 | 単位取得方法

キャリア支援課では、みなさんが将来、希望する進路にすすめるよう年間を通してセミナー・講座を実施していますので、ぜひ受講してください。「キャリア形成支援講座」のポイント対象となるセミナー・講座を受講し、条件を満たし報告書を提出してポイントをためることにより単位を修得することができます。

01

講座を
選ぶ

キャリア形成支援講座のポイントとなるセミナー・講座を選ぶ

複数のセミナー・講座の受講が可能



02

受講

セミナー・講座を受講する

セミナー・講座後のアンケートの回答をもって出席確認とする。

その為、キャリア形成支援講座のポイント認定希望者は確実に回答すること。

※インターンシップ、論作文対策講座については、別途条件あり。



03

報告書

セミナー・講座最終日後、指定期間内に報告書を受け取る



04

報告書
提出

提出期限までに報告書を提出する

出席回数等の条件を満たしていることが確認できた者が、報告書を提出できる。

必ず各講座の指定する締切日までに提出すること。締切日を過ぎての受け付けはできません。

(キャリア支援課窓口へ)



05

履修
登録

15ポイント獲得後、原則として翌年に履修登録する

科目名：キャリア形成支援講座



06

単位
取得

2単位が得られる

成績は合否で判定

注意
事項
!

●履修登録は15ポイント獲得後!!

単位認定を受けられるのは1度のみです。

1～3年生までに通算15ポイントを獲得すると、翌年、履修登録手続にて2単位が得られます。

4年生ではポイントは得られません。

※授業・実習等により講座に出席できない場合は、必ず事前に申し出てください。

人間力育成 実践科目 ▶▶▶ キャリア形成支援講座

コア科目

人間教育 基礎科目

人間教育 演習科目

言語文化科目・情報関連科目・体育関連科目・教職課程科目

人間力育成 実践科目

人間力育成 実践科目(自主講座)

1年次

2年次

目標

- 大学生活への定着を図る
- 大学での「学び」がどのように生き方に繋がるのかを考える
- 「学び」の土台であり、これからの就職活動に繋がる基礎学力の強化を図る
- 目的、目標を持った大学生活が、就活や今後の人生を生き抜く力となることを認識する
- コミュニケーションの基本について理解する
- 他者との協働やグループワークを通して、自己発見を深める

- 女性が働くこと、仕事を持って生きていくことの意義を考える
- 将来の目標を踏まえ、必要に応じて大学生活のあり方を修正する
- 自分の就きたい職業および企業が求める人材を知る
- 自分の適職について考えるにあたり、自己理解、採用されるための表現方法について考える
- 社会人としてのマナーを身に付ける
- 他者との協働やグループワークを通して、自己発見を深める

キャリアセミナー

- ① 大学生活スタート
～毎日を20倍楽しくする方法～
- ② ワタシ理解
～本当の自分を知ろう～
- ③ シゴト探求
～いま、気になる業界・職種～
- ④ 先輩のキャリアデザイン
～何よりもタメになる内定者体験談～
- ⑤ インターンシップ報告会
～みんなが参加する理由～
- ⑥ 就活先取り!書類・面接対策
～早すぎる"対策はない"～

5回以上参加、
報告書提出で
5ポイント

- ① ミライ設計
～イマを知る!ミライが見える!～
- ② ワタシ理解
～本当の自分を知ろう～
- ③ シゴト探求
～いま、気になる業界・職種～
- ④ 先輩のキャリアデザイン
～何よりもタメになる内定者体験談～
- ⑤ インターンシップ報告会
～みんなが参加する理由～
- ⑥ 就活先取り!書類・面接対策
～早すぎる"対策はない"～

5回以上参加、
報告書提出で
5ポイント

基礎力養成講座

① 論作文対策講座

【対象】大1・大2

【内容】論作文を作成し文章力及び論理性を養う。
全3回(講演・演習・課題提出)

全3回参加、報告書提出で
2ポイント

② 非言語対策講座

【対象】大1・大2・大3

【内容】就職採用選考の筆記試験対策として、非言語分野が苦手な方、短時間で簡単に解くコツを習得したい方、問題の形式に慣れたい方にお勧め。四則演算、分数、小数、%の計算・比の計算、食塩水の濃度算、二重の割合、表の読み取り、損益計算、分割払い・清算、仕事算・速度算、場合の数、確率、集合、対偶・帰納法・演繹法・仮説 等、非言語(算数・数学系)を基礎からしっかり学ぶ。
全12講座

インターンシップ

【インターンシップとは】

学生が在学中に、企業などにおいて自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと。

【インターンシップの目標】

- ① 社会のしくみを理解する
- ② 働くイメージを持つ
- ③ 自分の強みと課題を明確にする
- ④ 就業体験を通じて、大学での学びの重要性を知る

STEP 1

事前指導

- 【全体講義】【実践】それぞれ1回ずつ参加する。
【全体講義】
manabaで動画を視聴し、レポート(A4で1枚)を提出。
【実践】
事前予約制。複数日開催。先着順。

STEP 2

実習願い提出

※ インターンシップについての詳細は、インターンシップガイダンスに参加し確認してください。

※ 掲載されているセミナー・講座内容は2022年度のもので、内容は年度毎に変更する場合があります。

3年次

- 就職活動の流れを理解する
- 社会人に求められ、採用試験に必要な基本的マナーを理解する
- 志望業界・職種などを選択するための各種情報を収集する
- 採用試験で自己をアピールできる準備をする
- 企業の採用情報を収集する
- 他者との協働やグループワークを通して、自己発見を深める
- 早期選考に備えた対策をする

4年次

- 学生自身の準備段階に応じた支援を活用し、内定を獲得する

就職セミナー

- ① 就活スタート
～内定をゴールにしない就職活動の進め方～
- ② 自己分析
～徹底的に自分と向き合い自分の幸せを考えよう～
- ③ 自己PR・ガクチカ
～通る書類と通らない書類のちがいを～
- ④ 業界・職種・企業研究
～自分に合った仕事はなにに?～
- ⑤ 志望動機
～志望動機はコピペできません!!～
- ⑥ GD対策
～通過する秘訣とは?～

5回以上参加、
報告書提出で
5ポイント

8回以上参加、報告書提出で6ポイント

単位認定を受けられるのは1度のみです。

1～3年生までに通算15ポイントを獲得すると、翌年、履修登録手続にて2単位が得られます。

4年生ではポイントは得られません。

STEP 3

インターンシップ実習参加

5日間以上及び合計35時間相当以上
※実習中は毎日「実習日誌」を書き、担当者に確認してもらう。

STEP 4

事後プログラムへの参加

実習を経て学んだことを、学生間で共有し振り返りを行う。

STEP 5

実習日誌・報告書提出

事後プログラムで配付する報告書を記入の上、提出

上記 STEP 1～STEP 5を行うことで15ポイント。